射水市 小杉駅周辺地区まちづくり基本構想 検討業務委託 報告書

令和2年3月

射 水 市

はじめに

小杉駅周辺のまちづくりについては、平成2年に「小杉駅前地区市街地再開発事業基本計画」が策定されているが、平成17年に射水市が誕生し、小杉駅は本市の陸の玄関口としての役割を担うなど、小杉駅を取り巻く地域の環境は大きく変化している。このことから現在策定中の「射水市都市計画マスタープラン全体構想」や「射水市地域公共交通網形成計画」などの各種計画と整合をとりつつ、地域を取り巻く状況の変化等も加味してまちづくりの方向性を見直し、小杉駅周辺地区基本構想の策定に取り組むこととしている。

本業務は、小杉駅周辺地区基本構想の策定に向けた準備として、計画の前提や参考となる各種情報の整理、計画のたたき台となる地区整備の方向性の整理等を行うことを目的とする。

目次

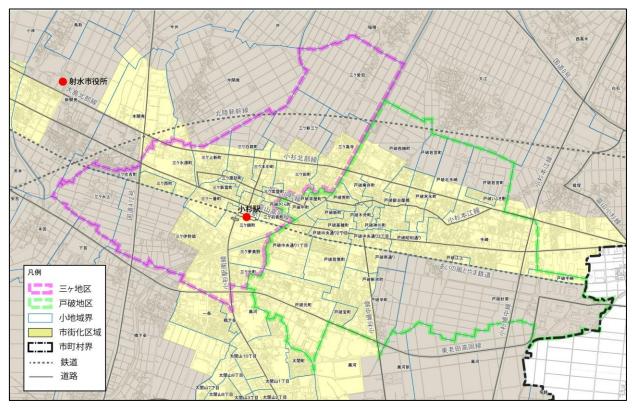
第1章	現況と課題の整理	1
第1領	節 現状の分析	1
1	小杉駅周辺地区の状況	1
2	小杉駅周辺(直近部)の状況	19
第2領	節 既存計画との関係整理	21
1	第2次射水市総合計画(計画期間:平成26年度~令和5年度)	21
2	射水市都市計画マスタープラン(計画期間:令和2年度~令和21年度)	24
3	射水市地域公共交通網形成計画	29
4	射水市公共施設再編方針(案)	31
5	その他既往事業計画等	32
第3額	節 地域住民の意向整理	38
1	アンケート調査における意見のまとめ	38
2	住民意見交換会における意見のまとめ	43
3	学生意見交換会における意見のまとめ	46
第4領	節 課題の設定	47
第2章	地域の活性化に向けた施策の方向性の整理	49
1	小杉駅を中心とした都市機能の集積と賑わいの形成	49
2	安全性・利便性の高い居住環境の維持・充実	49
3	道路・公共交通ネットワークの強化	50
4	地域の豊かな歴史・文化、自然環境の保全と活用	50
第3章	施策の方向性の具体化検討のための参考事例の収集	53
1	駅舎に複合機能の集積	53
2	学生、市民の活躍の場、交流の場	59
3	勉強、コワーキングスペース、スタジオ	61
4	観光案内機能	66
5	小河川の親水環境整備	69

第1章 現況と課題の整理

第1節 現状の分析

1 小杉駅周辺地区の状況

小杉駅周辺地区の現状について整理・分析する。国勢調査などの統計データを用いる場合は、三ケ地区及び戸破地区を対象範囲とし、以下の記述においては当該2地区を合わせて「小杉駅周辺地区」という。(図表1)



図表 1 小杉駅周辺地区の調査分析範囲

(1)人口、世帯数

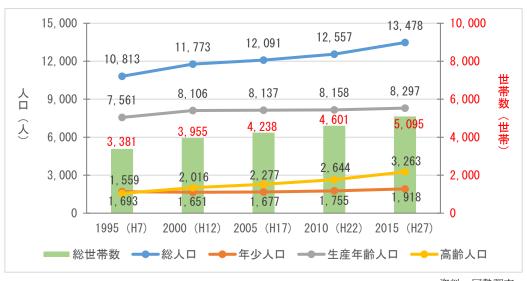
① 地区全体の人口、世帯数

- ・小杉駅周辺地区の平成27 (2015) 年の人口は13,478人であり、増加傾向にある。
- ・年齢(3区分)別にみると、生産年齢人口(15歳~64歳)はやや減少し、年少人口(14歳以下)及び高齢人口(65歳以上)は増加傾向にある。(図表2)
- ・平成27 (2015)年の高齢化率は24.2%で、市全体(28.7%)よりやや低く、年少人口率

は2015年(H27) 14.2%で、市全体(13.4%)よりやや高い。(図表3)

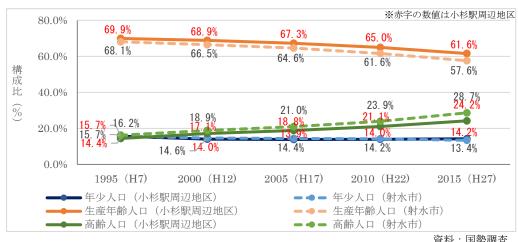
世帯数は平成27(2015)年5,095世帯で、総数は増加傾向にある。世帯類型別にみると 核家族世帯、単身世帯(とりわけ65歳以上の単身世帯)が増加している。(図表4)

図表2 小杉駅周辺地区の人口推移



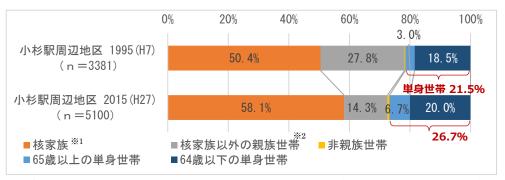
資料:国勢調査

図表3 小杉駅周辺地区の高齢化率等の推移



資料:国勢調査

図表 4 小杉駅周辺地区の世帯類型別世帯数の推移

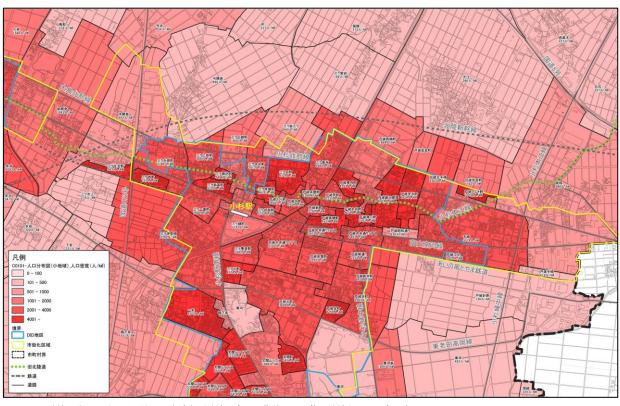


※1 核家族とは、(1) 夫婦のみの世帯、(2) 夫婦と子供から成る世帯、(3) 男親と子供から成る世帯、(4) 女親と子供

※2 親族世帯とは、二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のみからなる世帯をいう。

② 地区別(町丁目別)の人口、世帯数の分布

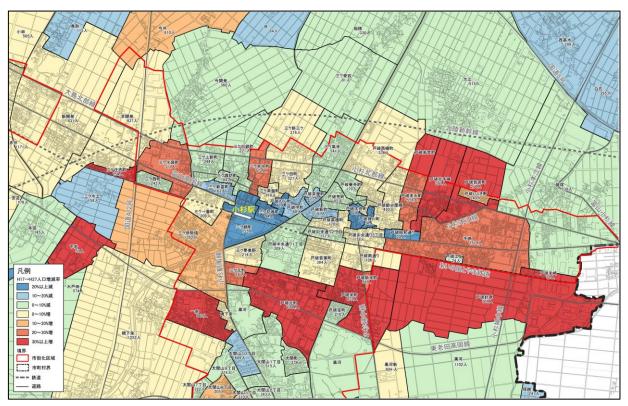
- ・小杉駅周辺地区の平成 27 (2015) 年の人口密度は農業エリアも含む全域で約 2400 人/㎡ であるが、市街化区域の大部分は 4000 人/㎡以上の DID(人口集中地区)になっている。 その中でも旧北陸道(小杉本江線、堀岡小杉線)を中心に古くから形成された市街地や 周辺部の住宅開発地などで人口密度の高い地区が多くみられる。(図表 5)
- ・平成17 (2005) 年~平成27 (2015) 年の10年間での人口増減をみると、小杉駅直近部で減少し、少し離れた比較的新しい住宅地区で増加している。世帯数の増減も人口とほぼ同様の傾向となっている。(図表6、7)
- ・高齢化率は、総じて小杉駅北側の市街地で高くなっている。(図表8)



図表5 小杉駅周辺地区の地区別人口密度(H27)

※小地域区分における飛び地は、当該主要地域に含めて集計し、一体の地域として同色で表示している。

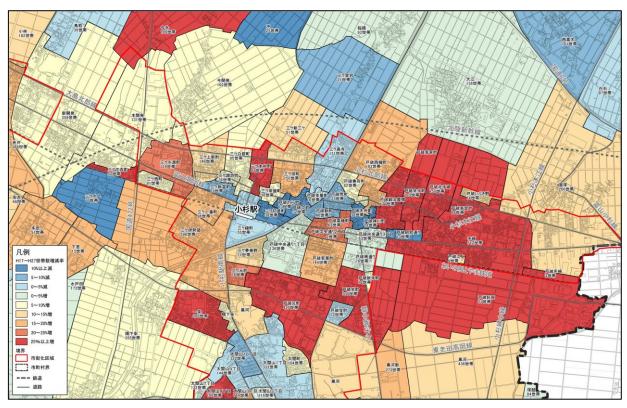
図表6 小杉駅周辺地区の地区別人口増減(H17~H27)



※小地域区分における飛び地は、当該主要地域に含めて集計し、一体の地域として同色で表示している。

資料:国勢調査

図表7 小杉駅周辺地区の地区別世帯数増減(H17~H27)



※小地域区分における飛び地は、当該主要地域に含めて集計し、一体の地域として同色で表示している。

TABLE TO THE REST OF THE REST

図表8 小杉駅周辺地区の地区別高齢化率(H27)

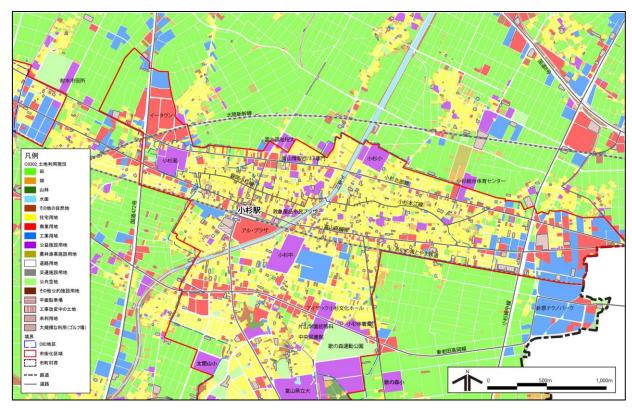
※小地域区分における飛び地は、当該主要地域に含めて集計し、一体の地域として同色で表示している。

市町村界

(2) 土地利用・建物の状況

① 土地利用現況

- ・あいの風とやま鉄道の北側は、主要地方道富山高岡線と都市計画道路小杉北部線の沿道 及びその中間エリアを中心として東西方向に住宅市街地が広がっている。幹線道路沿道 には商業用地が点在している。(図表 9)
- ・あいの風とやま鉄道の南側は、小杉駅前から太閤山方面に向かって住宅市街地が広がっている。都市計画道路東老田高岡線沿道にはロードサイド型の商業施設が集積している。 (図表 9)

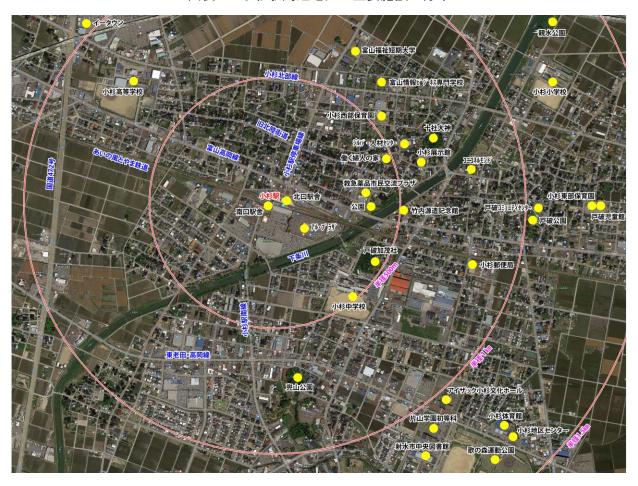


図表 9 小杉駅周辺地区の土地利用現況

資料:射水市都市計画基礎調查 (H30)

② 主要施設の状況

- ・あいの風とやま鉄道の北側には、救急薬品市民交流プラザ、小杉展示館、竹内源造記念 館、小杉高等学校、富山福祉短期大学、富山情報ビジネス専門学校などがある。
- ・あいの風とやま鉄道の南側には、小杉駅直近に大規模商業施設があり、小杉駅より約1 km南東にアイザック小杉文化ホール、射水市中央図書館、小杉体育館、小杉地区センタ ー、歌の森運動公園などがある。(図表10)

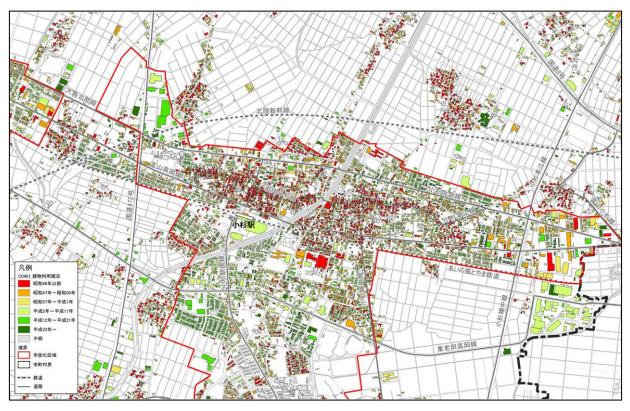


図表 10 小杉駅周辺地区の主要施設の分布

航空写真:Google

③ 建物建築年数別現況

- ・小杉駅北側には昭和 46(1971)年以前に建築された建築後年数が 50 年以上経過した古い 建物が多く分布している。(図表 11)
- ・駅南側には平成 2(1990)年以降に建てられた比較的新しい建物が多く分布している。(図表 11)

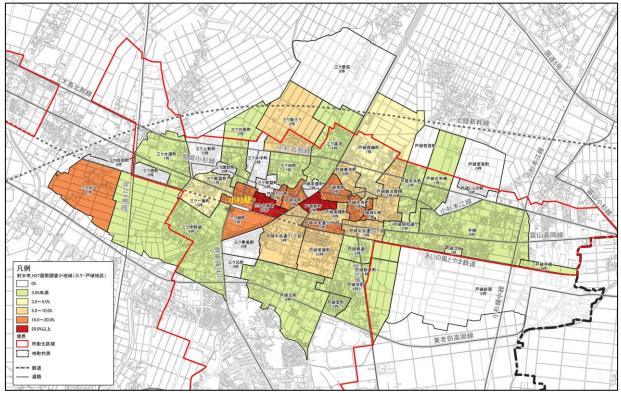


図表 11 小杉駅周辺地区の建築年数別現況

資料:射水市都市計画基礎調査(H30)

4 空き家の分布

- ・小杉駅周辺地区の平成28(2016)年における空き家件数は138件であり、空き家率は3.6%で射水市全体の空き家率5.6%よりやや低い。
- ・地区別にみると、小杉駅直近部及び旧北陸道の宿場町として栄えた街道沿いで高く、中でも三ケ初音町、戸破新町の空き家率が20%以上と最も高くなっている。(図表12)



図表 12 小杉駅周辺地区の空き家の分布(H29)

※空き家率は、実態調査で把握している全世帯数に基づく割合。倉庫、店舗数等は含まない。

資料:射水市空家実態調査(H29.3)

(3)交通の状況

① 小杉駅(あいの風とやま鉄道)の利用状況

- ・あいの風とやま鉄道小杉駅の1日当たり利用者数 (乗車人員) は、平成29 (2017) 年度3,188人であり、平成26 (2014) 年度以降年々増加傾向にある。約3/4が定期利用で約1/4が定期外利用となっている。(図表13)
- ・列車運行本数は、小杉駅を含む富山駅~高岡駅間で89本と最も多く設定されており、小 杉駅を通過する利用者数は約14,000人/日となっている。(図表14)

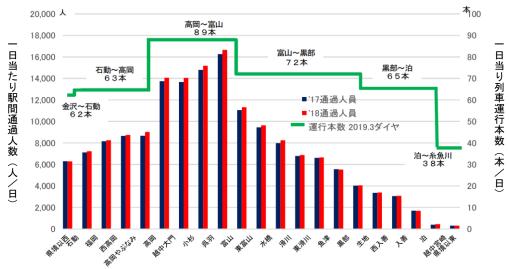
図表 13 小杉駅 (あいの風とやま鉄道) の利用者数の推移



資料:あいの風とやま鉄道(株)

図表 14 あいの風とやま鉄道の駅別乗車人数、駅間通過人数、列車運行本数(1日あたり)

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	0,20,7			···)/ (II) (I'')		-~-11.1	· >> \ ' II \
駅名	乗車人員			通過人員			列車運行 本数
	H29 年度	H30 年度	増減	H29 年度	H30 年度	増減	
高岡	6, 544	6, 522	△22				
				13, 739	14, 058	319	
越中大門	964	1, 017	53				
				13, 661	14, 044	383	89
小杉	3, 188	3, 251	63				
				14, 790	15, 180	390	
呉羽	1, 681	1, 686	5				
				16, 264	16, 647	383	
富山	12,000	12, 270	270				



出典: あいの風とやま鉄道(株)(R1年6月)

② 小杉駅(又は小杉)を経由する路線バスの運行状況

・小杉駅(又は小杉)を経由する路線バスは、富山地方鉄道(株)が運行する8路線である。(図表15)

図表 15 小杉駅 (又は小杉) を経由する路線バスの運行本数 (1 日あたり)

路線名	ルート	行先 (往路)	運行本数 (平日·往路)	備考
高岡線	富山駅前~小杉~高岡駅前		18	
小杉線	小杉駅前~富山駅前	富山駅前行	10	
	小杉→富山駅前		22	
小杉~富山短期大学	小杉駅前~富山短期大学	富山短期大学行	2	学休日運休
線				
国際大学附属高校線	小杉駅前→国際大附属高校		1	学休日運休
国際大学附属高校線	新高岡駅~小杉駅前~国際	新高岡駅行	3	
[高岡ルート]	大附属高校			
		国際大附属高校行	1	
小杉~新湊線	小杉駅前~新湊車庫前	新湊車庫前行	1	
小杉経由新湊線	富山駅前~小杉駅前~新湊	富山駅前行	4	
	車庫前			
歌の森小学校線	歌の森小前~北野	北野行	2	学休日運休

資料:富山地方鉄道株 路線バス時刻表

③ 小杉駅を経由するコミュニティバスの運行状況

(路線網と運行本数)

・小杉駅を経由するコミュニティバスは 12 路線で 1 日に最大時で往路 88 本・復路 96 本 が運行している。(図表 17)

(利用者数)

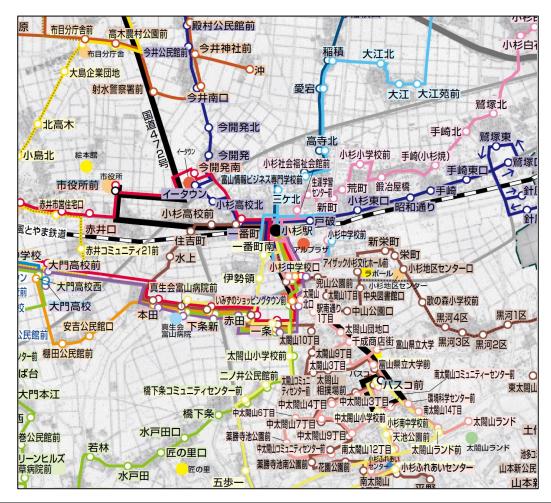
- ・利用者数は全体では年々増加している。(図表 16)
- ・路線別にみると、新湊・小杉線が73,389人/年(1日当たり201.1人/日)で最も多く、次いで小杉駅・太閤山線の51,899人/年(142.2人/日)となっている。利用者の増減をみると、新湊・小杉線は増加傾向、小杉駅・太閤山線は減少傾向にある。(図表18)

図表 16 小杉駅経由のコミュニティバス 12 路線全体の利用者数の推移



資料:射水市統計書(平成30年度版)

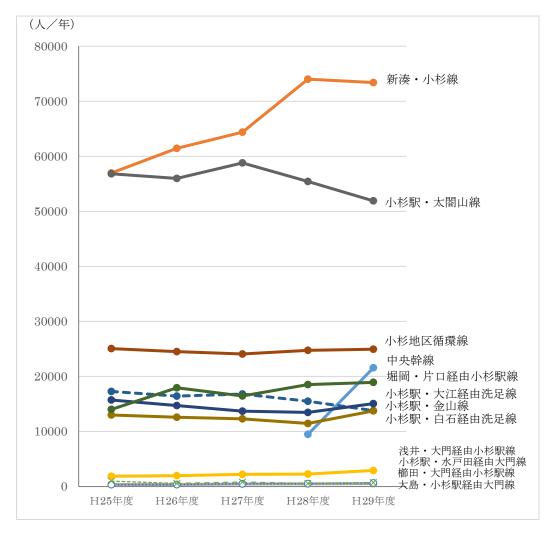
図表 17 小杉駅周辺のコミュニティバス路線網と運行本数



路線名	小杉駅停留所	方面別選	重行本数	備考
		往路	復路	
中央幹線	小杉駅南口	22	22	平日のみ運行
新湊・小杉線	小杉駅南口 小杉駅前(北口)	12	13	土日祝日運休便を含む
大島・小杉経由大門線	小杉駅南口	1	2	12月~2月の平日のみ運行
浅井・大門経由小杉駅線	小杉駅南口	2	2	12月~2月の平日のみ運行
櫛田・大門経由小杉駅線	小杉駅南口	1	2	12月~2月の平日のみ運行
小杉駅・水戸田経由大門線	小杉駅南口	1	2	12月~2月の平日のみ運行
小杉駅・金山線	小杉駅南口	3	4	土日祝日運休便、12月~2月のみ運行便を含む
小杉地区循環線	小杉駅南口	6	7	土日祝日運休便、12月~2月のみ運行便を含む
小杉駅・太閤山線	小杉駅南口	22	25	土日祝日運休便、12月~2月のみ運行便を含む
小杉駅・白石経由洗足線	小杉駅南口 小杉駅前(北口)	5	4	土日祝日運休便、12月~2月のみ運行便を含む
小杉駅・大江経由洗足線	小杉駅南口 小杉駅前(北口)	5	5	土日祝日運休便、12月~2月のみ運行便を含む
堀岡・片口経由小杉駅線	小杉駅南口 小杉駅前(北口)	8	8	土日祝日運休便、12月~2月のみ運行便を含む
合計		88	96	

資料:射水市コミュニティバス "きときとバス時刻表"(平成31年4月1日ダイヤ改正) "きときとバス路線図"

図表 18 小杉駅を経由するコミュニティバスの路線別年間利用者数の推移



小杉駅を経由するコミュニティバスの路線別の年間利用者数及び1日当たり利用者数

	平成 2	5 年度	平成 2	16 年度	平成 2	7 年度	平成 2	8 年度	平成 2	9 年度
路線名	年間利 用者数	1日当 たり								
中央幹線							9, 493	79. 1	21, 566	88. 4
新湊・小杉線	56, 969	156. 1	61, 444	168. 3	64, 389	175. 9	74, 019	202. 8	73, 389	201. 1
大島・小杉経由大門線	357	4. 6	378	6. 6	466	9. 9	505	8. 7	537	9. 3
浅井・大門経由小杉駅線	1, 875	24. 4	1, 991	34. 9	2, 223	47. 3	2, 279	39. 3	2, 923	50. 4
櫛田・大門経由小杉駅線	339	4. 4	356	6. 2	509	10.8	531	9. 2	646	11. 1
小杉駅・水戸田経由大門線	977	12. 7	576	10. 1	816	17. 4	556	9. 6	723	12. 5
小杉駅・金山線	17, 281	47. 3	16, 438	45. 0	16, 814	45. 9	15, 506	42. 5	13, 794	37. 8
小杉地区循環線	25, 064	68. 7	24, 522	67. 2	24, 087	65.8	24, 754	67. 8	24, 965	68. 4
小杉駅・太閤山線	56, 827	155. 7	55, 984	153. 4	58, 799	160. 7	55, 428	151. 9	51, 899	142. 2
小杉駅・白石経由洗足線	12, 988	35. 6	12, 602	34. 5	12, 313	33. 6	11, 463	31. 4	13, 743	37. 7
小杉駅・大江経由洗足線	15, 723	43. 1	14, 709	40. 3	13, 692	37. 4	13, 472	36. 9	15, 076	41. 3
堀岡・片口経由小杉駅線	14, 012	38. 4	17, 940	49. 2	16, 449	44. 9	18, 517	50. 7	18, 924	51.8
合計	202, 412		206, 940		210, 557		226, 523		238, 185	

資料:射水市統計書(平成30年度版)

4 道路交通の状況

- ・小杉駅北側市街地は、幅員4m未満の狭隘な道路が多く、また街区形状も不整形で行き 止まりの道路も散見され、道路基盤の脆弱な市街地構造になっている。(図表 19)
- ・駅南側市街地は、幅員4m以上の道路で整形な街区が形成されている。
- ・南北市街地を結ぶ道路はほとんどが踏切で、朝夕のピーク時間帯には鉄道による遮断交 通量が多く、南北交通に支障を来す状況になっている。

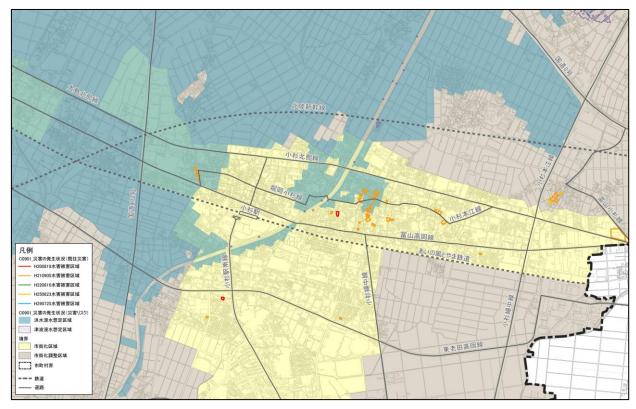
PASI CONSTRUCTION AND ADMINISTRATION AND ADMINISTRA

図表 19 小杉駅周辺地区の道路の状況

資料:射水市都市計画基礎調查 (H30)

(4) 災害・防災等の状況

- ・洪水浸水想定区域は、小杉駅周辺を除く下条川左岸側の地域に多く分布している。
- ・水害発生歴のある区域は、下条川右岸側の小杉駅より北側の地域に多く分布している。 (図表 20)



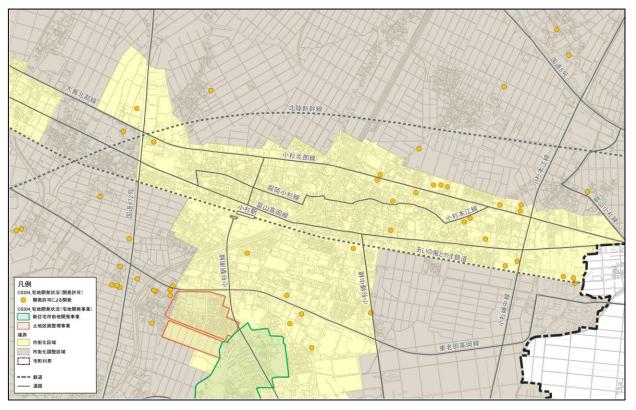
図表 20 小杉駅周辺地区における災害発生リスク

資料:射水市都市計画基礎調查 (H30)

(5) 開発等の状況

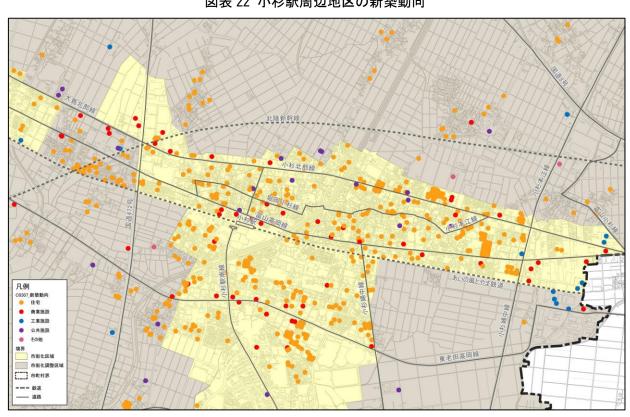
- ・開発許可による宅地開発は、全体的に小杉駅から離れたエリアに分布しており、小杉駅 北側では都市計画道路東老田高岡線や一般県道小杉本江線の沿線などに、小杉駅南側で は都市計画道路東老田高岡線沿線などに分布がみられる。(図表 21)
- ・建物の新築(新築、増築、改築を含む)動向をみると、ほぼ一様に分布が見られるが、 小杉駅北側の老朽建物が多い地域では主に改築、小杉駅南側の比較的新しい市街地では 主に新築の件数が多いと考えられる。(図表 22)

図表 21 小杉駅周辺地区の宅地開発状況



資料:射水市都市計画基礎調查 (H30)

図表 22 小杉駅周辺地区の新築動向

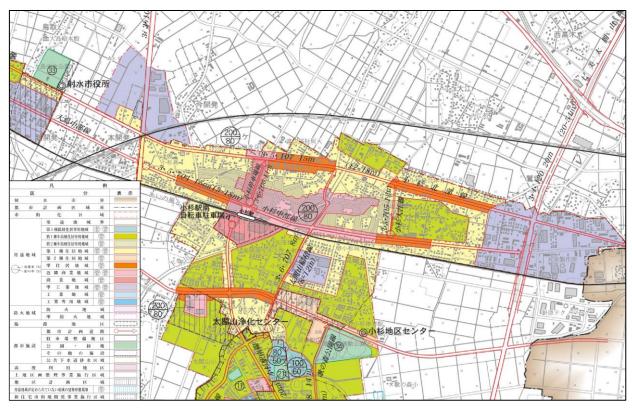


資料:射水市都市計画基礎調查 (H30)

(6) 法的規制等の状況

① 都市計画

- ・小杉駅北側では、都市計画道路小杉停車場線沿いに商業地域、主要地方道富山高岡線及び旧北陸道(一般県道堀岡小杉線、一般県道小杉本江線)沿いに広がる市街地に近隣商業地域、その他の市街地は住居系の用途地域が指定されている。(図表 23)
- ・小杉駅南側では、駅前に商業地域、都市計画道路東老田高岡線沿線の一部に近隣商業地域、小杉中学校東側の街区に準工業地域、その他の市街地は住居系の用途地域が指定されている。(図表 23)

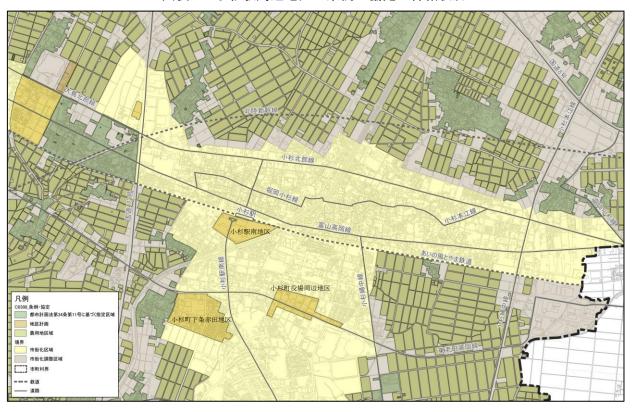


図表 23 小杉駅周辺地区の都市計画

出典:射水市

② 条例・協定の締結

・都市計画法に基づく地区計画が小杉駅南側に3箇所指定されており、いずれも整備済となっている。(図表24)



図表 24 小杉駅周辺地区の条例・協定の締結状況

資料:射水市都市計画基礎調查 (H30)

地区計画名	位置	地区計画面積	地区整備計画面積	最終都市計画決定日
小杉駅南地区地区計 画	射水市三ケ、字 中吉原	約6.9ha	約6.9ha	平成8年4月1日
小杉町役場周辺地区 地区計画	射水市戸破字 加茂、字後宝	約8.0ha	約8.0ha	平成8年4月1日
小杉町下条赤田地区 地区計画	射水市下条、三 ケ	約13.7ha	約13.7ha	平成 14 年 11 月 25 日

資料:射水市

2 小杉駅周辺(直近部)の状況

〇南北駅舎、南北連絡自由通路(地下道)

・小杉駅の改札口に合わせて駅北口、南口にそれぞれ駅舎が設置されており、待合室、トイレ等を備えている。(図表 25)

〇南北連絡自由通路(地下道)

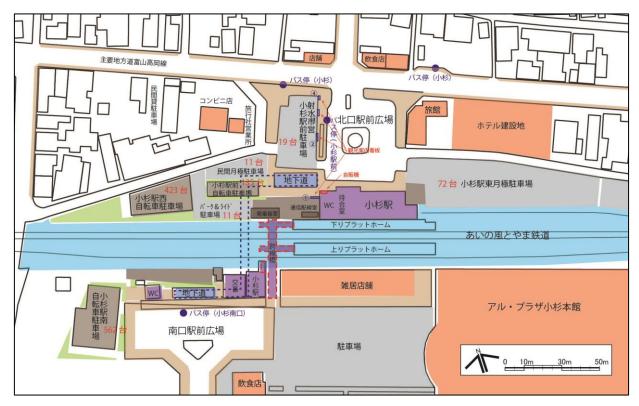
・駅舎付近に北口・南口を結ぶ、歩行者・自転車用の地下道が設置されている。(図表 25)

〇公共駐車場 · 駐輪場

- ・駅北口には市営の無料(2 時間)駐車場及び有料(月極)駐車場が市有地に確保されている。 また、小杉駅での JR 長距離切符購入者のための無料パーク&ライド駐車場があいの風 とやま鉄道用地内に設置され市で運営されている。(図表 25、26、27)
- ・市営の駐輪場は駅北口及び南口にそれぞれ整備されている。(図表 25、26、27)

○駅のバス停

・駅のバス停は、北口では駅前広場内に「小杉駅前」、広場外に「小杉」が設置されている。 南口では駅前広場内に「小杉南口」が設置されている。(図表 25)



図表 25 小杉駅直近部の土地利用、主要施設

図表 26 小杉駅周辺の公共駐車場及び駐輪場 (2019年3月末)

小杉駅周辺の駐車場

	場所	運営主体	形態	収容台数	利用率	備考
小杉駅前広場駐車場	駅北口	射水市	2 時間以内	13 台		
小杉駅東駐車場	駅北口	射水市	月極	45 台	100%	
小杉駅パーク&ライド駐車場	駅北口	射水市	無料	11 台	100%	小杉駅での JR 長距離切 符購入者 (申請)

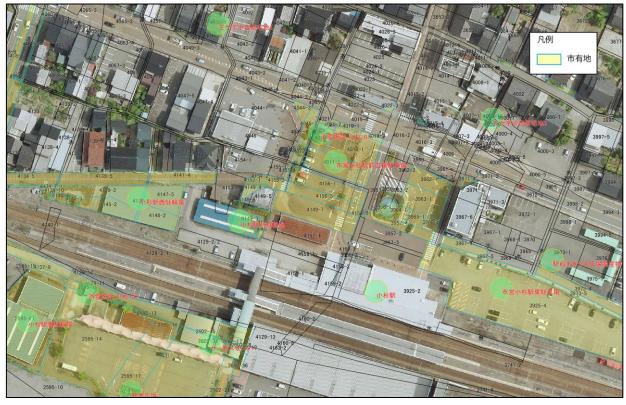
資料:射水市地域公共交通網形成計画

小杉駅周辺の駐輪場

	場所	運営主体	収容台数	利用率	備考
小杉駅前自転車駐車場	駅北口	射水市	135 台	ほぼ 100%	
小杉駅前西自転車駐車場	駅北口	射水市	423 台	約 25%	
小杉駅南自転車駐車場	駅南口	射水市	562 台	約 80%	

資料:射水市地域公共交通網形成計画

図表 27 小杉駅直近部の市有地の分布



資料:射水市管財契約課

第2節 既存計画との関係整理

上位計画及び関連計画における小杉駅周辺地区の位置づけ、整備の方向性等について 整理する。

1 第2次射水市総合計画(計画期間:平成26年度~令和5年度)

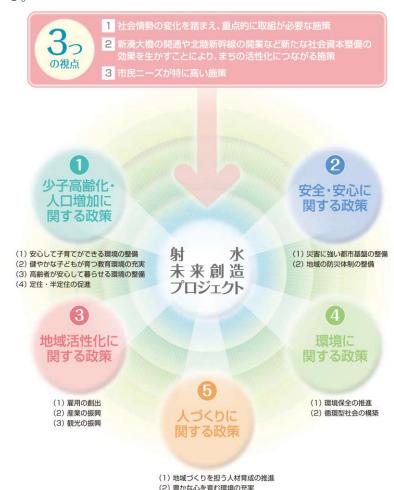
(1) 射水市の将来像・3つの基本理念、5つのまちづくりの基本方針



出典:第2次射水市総合計画

(2) 重点プロジェクト「射水未来創造プロジェクト」

まちづくりの5つの基本方針に沿った基本計画の分野別計画に示す施策・事業のうち、特に重点的・集中的に、政策の体系を超えて横断的・戦略的に取り組むものを重点プロジェクト「射水未来創造プロェクト」して位置づけた施策・事業の中に、「観光の振興」などが含まれている。



出典:第2次射水市総合計画

(3) 小杉駅周辺地区のまちづくりに関連づけて考えられる主な施策

小杉駅周辺地区のまちづくりの方向に関連性が高いと思われる施策について以下に整理する。

(3) 思いやりのある心の醸成

部・章・節	【目指す方向】	【施策の内容】
第1部 豊かな心を育み誰も	個性豊かな地域文化を創造	第3 文化財の保存と活用
が輝くまち	するため、地域に根ざし、受け	〇文化財の調査、保存、活用の推進
第2章 みんなが学び豊かな	継がれてきた伝統行事・文化財	・市民の郷土への愛着と誇りを育む環境
心を育むまちづくり	の調査・研究、保存・継承・活	づくり
第2節 芸術・文化の継承	用により、新たなまちづくりや	・歴史的建造物等を生かしたまちづく
と創造	市民の郷土への愛情と誇りを	り・地域の活性化
	育む機運の醸成を図る。	
第3部 個性に満ちた活気あ	射水市を広くアピールでき	第1 観光資源の活用・充実
ふれるまち	るよう、既存の観光資源の活用	〇歴史や伝統文化の活用

hite of the life to the control of the	6-44-1/- Hin H or #4/#) = 1 10	ローナフが ロッセル キュー・マー
第1章 個性を生かしたまち づくり 第2節 観光の振興 第4部 潤いのある安心して 暮らせるまち 第2章 快適で利便性の高い まちづくり 第2節 公共交通網の整備	や観光拠点の整備により、観光地としての魅力の創出を利用した情報発信や PR 活動を推進する。 コミュニティバス等の直正の連携強化を図り、快適なもに、及び連携強化を目指すとともに、あいの風とやま鉄道、万葉線化に努める。	・歴史ある祭りの観光素材としての活用 ・歴史や伝統文化等の再発見、掘り起こし 第2 観光振興体制の充実 〇観光振興体制の充実 〇観光振興体制の充実 〇観光振興体制の充実 の離光振動をつなぐ周遊バスの導入 ・駐車場や休憩施設の整備 第3 破職成 〇観光案内及びボランティアガイドの 充実 ・観光案内及びボランティアがイドの充実 ・観光案内及びボランティアがイドの充実 ・観光案内表示ティアがイドの充実(観光案内所や観光案内をがボランティアがインのでを関光をでものででも関光である。 ・観光を記されている。 ・記が表による利用による利用によるので、まずののをはでものは、では、のでは、のででは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の
		・鉄道駅関連施設の整備及び駅機能の強化 ・交通ターミナル整備の検討 ・パーク・アンド・ライド促進のための駐車・駐輪場施設の整備 〇移動制約者の利便性向上 ・高齢者、障がい者等の利用を促進する環境の整備(公共交通施設のバリアフリー化)
第4部 潤いのある安心して	本市の特色を生かしながら、	第2 既成市街地活性化の推進
第4部 潤いのある安心して暮らせるまち第3章 快適で住みよいまちづくり第2節 生活環境の充実	本市の特色を生かしなから、 既成市街地等での生活環境の 充実を図り、市外への転出を抑 えるとともに、生活道路、公園 等のバリアフリー化を進め、子 どもから高齢者、障害の有無に	第2 既成市街地活性化の推進○既成市街地活性化の推進・庄川、内川、下条川等の水辺空間や歴史ある街並み等を生かした特色あるまちづくりの推進○駅周辺の整備
	かかわらず、誰もが安心して生	・小杉駅及び越中大門駅周辺の整備
	活できる環境整備を進める。	
第5部 みんなで創る開かれ	学生同士の交流を深める取	第2 学生が交流する機会の提供
たまち 第1章 市民が主役のまちづ	組や地域活動に学生が参画するための仕組みを構築し、学生	│ 〇学生の交流拠点の整備 │ 〇学生間交流事業の企画・運営
第1早 市民が主役のよらつ くり	るための仕組みを構築し、学生 が活躍するまちづくりを推進	│ ○字生间交流事業の企画・連宮 │ ○学生、市民との交流事業の実施
第3節 学生が参画するま	する。	
ちづくりの推進		

2 射水市都市計画マスタープラン (計画期間: 令和? 年度~令和?1 年度)

射水市都市計画マスタープラン(以下、「マスタープラン」と呼ぶ。)より、小杉駅周辺 地区に関わる地域の位置づけ、整備の方針等について整理する。

(1)地域の位置づけ

マスタープランの全体構想において、小杉駅及び市役所本庁舎を含むエリアは、「都市中 核拠点」として位置づけられている。

(2)地域の方向性(南部内陸地域)

マスタープランでは、全市域を4つの地域に区分し、地域別の構想がとりまとめられている。小杉駅周辺地区は、南部内陸地域に含まれる。



出典:射水市都市計画マスタープラン

出典:射水市都市計画マスタープラン

■南部内陸地域の方向性

文教、学術、交通、多様な都市機能が集積し、にぎわいあふれる、暮らしやすいまち

① 公共交通や生活利便機能の充実により、快適で利便性の高い暮らしやすいまち づくり

利便性の高い交通環境や医療・福祉、買物等の生活利便施設の維持・充実を図り、暮らしやすい環境の創出に努める。また、都市中核拠点をはじめとした多くの拠点が集積する地域として、各拠点をつなぐ公共交通の充実、歩道の充実、身近な店舗等の立地誘導等により、歩いて快適なまちづくりを推進する。

② 高等教育機関や研究機関等との連携を通じて、新たな活力を育むまちづくり

市内に立地する高等教育機関や研究機関等との連携を通じ、研究者・学生、事業者等と行政と連携し、地場産業の強化、新たな産業の創出等の学術のまちづくりに向けた取組など、新たな活力を育むまちづくりを推進する。

③ 都市機能の集積を活かし、人々の多様な交流を促すまちづくり

居住、商業、交通、公益、文教等の都市機能と、豊かな水、緑の環境及び歴史・文化 資産等の集積を生かし、人々の多様な交流を促し、まちににぎわいがあふれるまちづく りを推進する。

(3) 都市整備の方針

1) 土地利用

【住居地】

戸建て住宅が中心の住宅地においては、地区の特性に応じた、良好な住環境の確保に 努める。

市街地の空き家・空き地・空き部屋等の低・未利用物件については、移住・定住の受け皿として宅地活用や流通促進の検討、市内外の若者等のシェアハウスなどの活用、サロンや集会場等地域の憩いや集いの場としての活用を促進する。

小杉駅周辺の住宅地においては、商業・業務施設との調和に留意しながら、中高所得者向け賃貸・分譲マンションなどの集合住宅の立地を誘導し、適度な密度を保ち、良好な住環境の整備・維持を図る。また、通勤・通学など、人が多く集まる特性を生かせる利便施設の集積を促進する。

【商業・業務地】

小杉駅周辺の商店街等の古くから店舗や生活利便施設が立地する区域については、これまでの商業・業務機能の立地を生かしながら、リノベーション等による魅力向上を図り、機能の維持を促進する。ソサエティ 5.0 社会において、IoT や AI 等の普及に伴い大きな敷地や施設を必要としない新たな産業活動やサテライトオフィス、シェアオフィスなど事業活動の場の形成を検討する。

また、民間活力導入も視野に入れた再開発事業等を促進し、商業・業務・宿泊機能の 集積と高度利用、日常店舗や医療・高齢者福祉、子育て関連等の生活利便施設の立地誘 導を促進する。

主要地方道富山高岡線沿道、都市計画道路東老田高岡線等の市街地中心部の主要道路沿道の商業施設がまとまって立地する区域の周辺については、利便性が高く魅力的な商業・サービス施設の立地誘導を促進する。

【河川地】

豊かな自然を有する庄川、下条川等の水辺については、自然環境の保全及び防災対策の充実を図りながら、人々が集いにぎわい憩える空間として、適正な利活用を促進する。特に下条川については、射水ベイエリアと陸の玄関口である小杉駅周辺の連携が可能となる水上観光ルートの確保についても検討を進める。

2 交通

1) 道路網

【幹線道路】

本市の東西の主要な幹線道路である都市計画道路東老田高岡線、主要地方道富山高岡線については、都市中核拠点をはじめとする市内各拠点と富山市・高岡市とも連携する都市連携・交流軸として、機能の維持・充実を図る。

市の中央部を南北に縦断する国道 472 号については、市域全体の連携を強化する重要な幹線道路として、機能の維持・充実を促進する。

【その他の道路】

主要な生活道路の整備・改善として、通学路等を中心に、歩行者空間の整備、歩道の 段差解消、交通安全施設の整備等を推進する。

既成市街地内の狭あい道路については、災害時における避難路の確保や消防・救急活動の円滑化、日照・通風等の住環境の向上のため、拡幅整備を推進する。

2)公共交通

本市の陸の玄関口である小杉駅については、鉄道や路線バス、コミュニティバス等の公共交通ターミナルとしての機能強化を図り、射水市民病院やクロスベイ新湊、太閤山地区等とのネットワーク強化を推進し、観光資源が豊富な射水ベイエリア周辺等との連絡利便を高める取組を進める。また、市街地の連続性や公共交通の利便性向上、バリアフリーやユニバーサルデザイン等の観点から、周辺エリアとのシームレスな移動空間の整備・維持に努める。将来に向けて、南北一体的な土地利用の促進を図るため、駅の橋上化等を含めた様々な手法について検討する。

3)その他の交通施設

パーク・アンド・ライドやサイクル・アンド・ライドを促進するため、駅周辺での駐車場や駐輪場の整備誘導を進める。

また、小杉駅周辺エリアで、河川等の水辺や歴史・文化資源等とも連携したシェアサイクル等の導入を検討し、魅力的な歩行者・自転車のネットワーク形成を図る。

③ 生活環境

1)公園・緑地

地域内の既存公園は、施設の長寿命化、バリアフリー化及び防犯対策等に留意した機能の向上を図り、公園規模に応じて、遊具・トイレ等の公園施設の整理統合を推進する。 また、小規模な公園については、地域での利用状況や周辺環境等に留意して、機能変更、 再配置及び統合の検討を進める。

薬勝寺池公園、歌の森運動公園、グリーンパークだいもん、大島中央公園は、市民が 安心して、憩いや交流、レジャーを楽しむことができる場として、施設機能の維持・充 実やバリアフリー化等を推進する。また、公園を含め、周辺部の魅力向上のため、民間 活力を導入した公園施設の利活用・整備を推進する。

下条川、庄川、和田川等の河川については、水辺環境の保全を図るとともに、ウォーキングコースや桜並木など、身近な憩い空間としての活用を促進する。

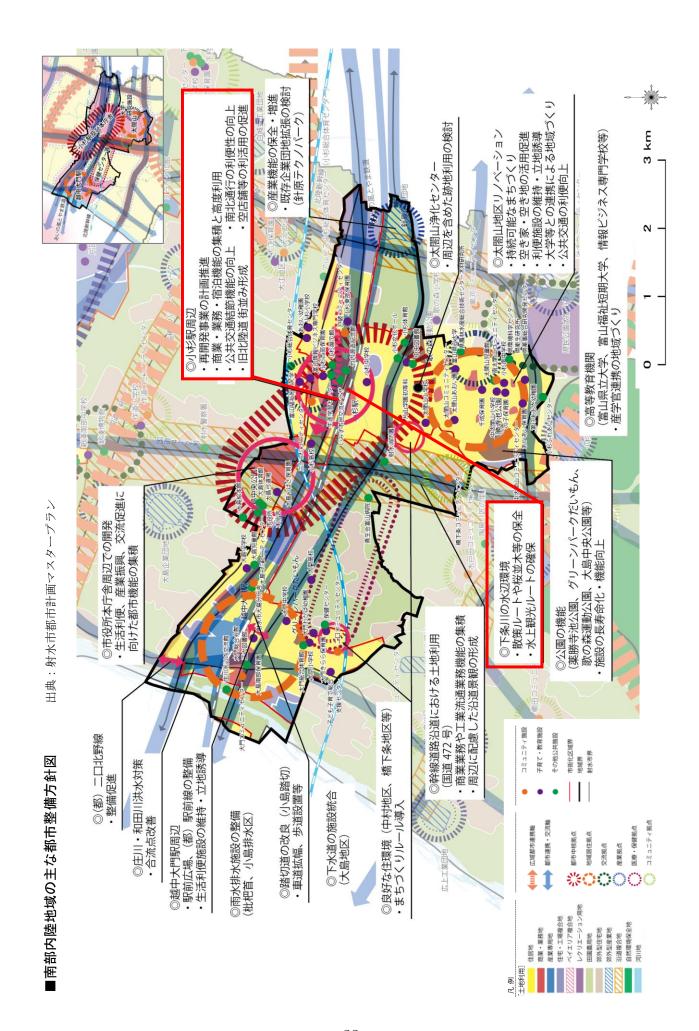
4 都市空間

小杉駅及び市役所本庁舎周辺の都市中核拠点、越中大門駅周辺及び太閤山地区の居住拠点においては、歩行者空間の確保・充実を図り、歩いて暮らせる・歩いて楽しい地域づくりを推進するとともに、多くの人が訪れ、利用する道路については、デザイン性の高い街灯の設置や防災・減災と景観の観点から無電柱化等の検討を進める。

特に、本市における交通の重要な拠点である小杉駅周辺及び越中大門駅周辺では、誰もが安全で快適な利用を可能とするため、バリアフリーやユニバーサルデザイン等の観点に基づいた整備・充実を促進する。

旧北陸道沿いにおいては、伝統や歴史的風情を感じる街並み景観の保全・活用を図る。 景観保全の具体的なルールや支援の充実に向けて、景観計画、地区計画や住民協定等の 規制誘導方策の活用を検討する。

下条川、庄川、和田川等の河川の良好な水辺景観の形成を図る。



3 射水市地域公共交通網形成計画

(1) 基本理念

地域の暮らし、賑わい、交流を育む持続可能な公共交通の実現

(2)基本方針

① まちづくりと連携した公共交通網の整備

都市の在り方を踏まえて地域拠点を中心とした公共交通ネットワークの形成を図るとともに、様々な交通モードの接続性の強化や待合環境の充実により誰もが円滑に利用できる交通体系の構築を図ることで、暮らしやすい居住環境の形成と移住・定住の促進につなげ、住み続けられるまちづくり(SDGs)に取り組む。

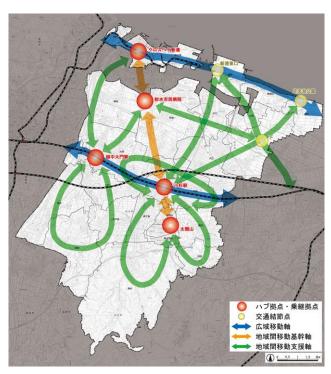
② 持続可能な公共交通の仕組みづくり

公共交通の持続性とサービスレベルを確保するため、路線や運行内容、運賃等の見直しなど運行の効率化と併せ、過度な自動車依存からの脱却を図りながら、利用者にとって分かりやすく、利用しやすい環境を整備し、収支改善に取り組む。

③ 暮らしを支え、交流を促す交通機能の充実

今後、人口減少や高齢化がさらに進んでいく中、健康・福祉や教育、観光など他の分野と連携しながら、様々な交通手段を活用して、通学・通勤、通院・買い物など日常生活の移動手段を確保するとともに、地域内外の交流促進を図る施策を展開する。

■地域公共交通の将来イメージ



出典:射水市地域公共交通網形成計画

(3) 重点実施プロジェクト

重点実施プロジェクト1:公共交通ネットワーク再構築プロジェクト

本市における交通機関である鉄軌道、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーのそれぞれを、相互に役割分担をしつつ有機的につなげるため、コミュニティバス、デマンドタクシーの路線再編を中心とした「公共交通ネットワークの再構築」を行う。

- ○ハブ拠点・乗継拠点の位置づけと幹線軸の形成
- ○中央環状路線の検討
- ○路線バスとコミュニティバスとの役割分担・連携強化
- ○地域内運行の役割の明確化と移動の確保
- ○ハブ拠点・乗継拠点における乗継・待合環境の充実
- ○コミュニティバス運行の効率化と利便性向上
- ○デマンドタクシーの運行内容の見直しと乗合の促進

重点実施プロジェクト2:公共交通を活用したお出かけ促進プロジェクト

市民が公共交通に親しみを持って接し、過度に自家用車に依存したライフスタイルからの脱却と、福祉や商業等との連携による移動の活性化を目指し、公共交通を活用したお出かけを促進する施策を総合的に行う。

- ○全体マップの作成やコミュニティバスのバス停時刻表の改善
- ○高齢者の運転免許返納を見据えた公共交通利用の促進
- ○ライフステージの変化に併せた公共交通の情報提供等
- ○福祉施策と連携した公共交通利用の促進と高齢者の交通事故防止
- ○商店等と連携した企画乗車券等の検討
- ○コミュニティバス等でのキャッシュレス決済の導入検討

4 射水市公共施設再編方針(案)

射水市公共施設再編方針(案)(平成31年3月/射水市)より、小杉駅周辺地区における主な公共施設の今後の再編方針について整理する。

■小杉駅周辺地区における主な公共施設の今後の方向性

[集会施設]

- ・コミュニティセンター(三ケ及び戸破)は、引き続き指定管理者制度を活用する。
- ・生涯学習センターは、救急薬品市民交流プラザへ移転する。

[文化施設]

・ホール施設の維持・運営には毎年多額の費用が必要なことに加えて、今後、老朽化への 対応が必要となることを踏まえ、効率的な管理運営に向けた文化施設の具体的なあり方 検討を早急に進める。

[社会教育系施設]

・中央図書館と新湊図書館に集約し、1本館1分館体制とする。

[博物館等]

・国登録有形文化財である小杉展示館、竹内源造記念館は、適切に維持保存する。

[スポーツ施設]

- ・新湊総合体育館と小杉総合体育センターに集約し、2館体制とする。
- ・小杉体育館は、民間事業者への譲渡を前提としつつ、譲渡が困難な場合は解体を検討する。

[学校教育系施設]

・小・中学校については、適正規模・適正配置化を図る。

[保育園・幼稚園]

・「市立保育園・幼稚園の今後の民営化方針について」に定める施設の老朽化や入園児童数による判断基準に基づき、あり方を検討する。

[社会福祉施設]

・小杉ふれあいセンターは、民間事業者への貸付・譲渡の可能性を検討する。

5 その他既往事業計画等

(1) 歴史と文化が薫るまちづくり事業計画

① モデル地区の課題

- ・新市街地の形成によって旧市街地における地域の活力が相対的に低下した。
- ・ 史跡をはじめとする地域内の歴史的資産は目に見える形で存在するものが少なく、その 価値が潜在的である。
- ・現地において地域の歴史や文化を紹介する解説等が皆無であり、地域住民においても価値の周知が十分ではない。
- ・点在する地域資源が地理的・ストーリー的な線で結びついておらず、外部の観光客等に 対してもその価値や魅力が最大限に伝えきれていない。
- ・地域の生活に密着した商店等はあるが、気軽に立ち寄れる飲食店や休憩場所が少なく、 イベント開催時を除いた平時における観光客等の受け入れ態勢が整っていない。

② 目指すまちづくりの方向

1) 伝統技術「鏝絵」を活かしたまちづくり

- ・竹内源造記念館を核とした左官職人の伝統技術「鏝絵」の要素とイメージを盛り込んだ ソフト・ハード事業の展開。
- ・全国の鏝絵を活かした取り組みを進めている地域と連携することで、情報の共有と相互 発信を行い、鏝絵文化そのものの認知度の向上を図る。
- ・新たな鏝絵の制作や一般参加の体験活動を取り入れたワークショップの展開。
- ・伝統文化・技術に基づいた新たな鏝絵・左官技術の価値を創造することで、「鏝絵のまち 小杉」の情報発信を一層進める。

2) 潜在的価値を秘めた地域資源の周知・活用の推進

- ・史跡や歴史的エピソードなど、視覚的に捉えることのできない潜在的価値を有する地域 資源の情報収集・整理を進め、地域住民との情報の共有化を図る。
- ・解説板の整備や観光ガイド・エリアマップ等の作成。
- 新幹線駅からの2次交通体系となる小杉駅の利活用促進。

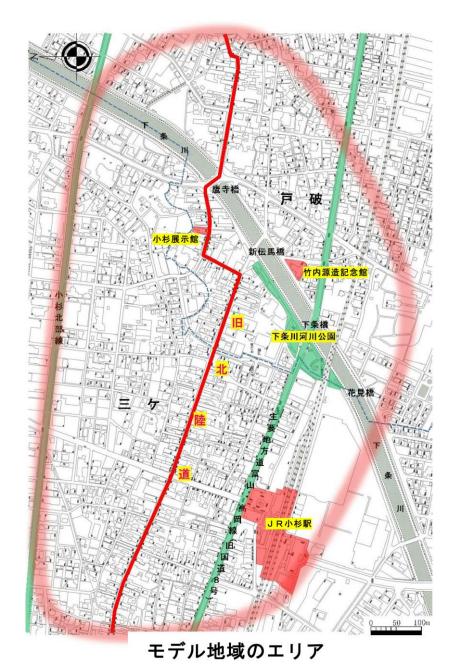
3) 地域活性化のための継続的・長期的な取り組みの推進

・地域資源の効果的・継続的活用が図れるよう、まちづくりの牽引役となる各種団体や地域住民同士の交流・連携を促進する。

4) 地域資源の連携

- ・本計画での取り組みは、地域外部への情報発信と地域住民自体への普及啓発という2つの視点からなり、両者を連携させることで、住民参加による地域活性化に向けた継続的・ 長期的な取り組みを図る。
- ・取り組みの集大成として「全国鏝絵サミット in とやま射水 (仮称)」の開催を計画し、 鏝絵そのものの認知度の向上、モデル地域から全国へ向けた「鏝絵のまち小杉」の情報

発信、全国的な交流の促進を図り、「鏝絵を活かしたまちづくり」を目指す。



出典:「歴史と文化が薫るまちづくり事業計画」(平成26年3月/射水市)

(2) 小杉地区都市再生整備計画

「都市再生整備計画(第3回変更)"小杉地区"」(令和2年1月/射水市)より

① 計画の目標

- ○大目標: あいの風とやま鉄道小杉駅周辺におけるコンパクトで魅力あるまちづくりにより、多世代が住み続けられるとともに、地域資源を活かし来訪者を呼び込む
 - ・目標1 (公共施設機能のコンパクト化) あいの風とやま鉄道小杉駅を中心としたエリアに公共・公益施設を集約し、活性化を図る。
 - ・目標2 (生活利便性の向上) 生活環境の整備によって定住人口を維持する。

・目標3 (交流人口の拡大)歴史や文化、自然や景観を生かした散策エリアを形成し、 地域資源を情報発信することで交流人口の拡大を図る。

② 計画区域の整備方針

計画区域の整備方針 方針に合致する主要な事業 整備方針1(公共施設機能のコ ■基幹事業 ンパクト化) ・射水市地域交流センター【高次都市施設(地域交流センター)】 ・あいの風とやま鉄道小杉駅を中 ・歴史と文化を巡る道【高質空間形成施設(緑化施設等)】 心としたエリアに公共・公益施 ■提案事業 設を集約し、地域住民の交流が · 事業効果分析等【事業活用調查】 図られる地域活性化の拠点とす 整備方針2 (生活利便性の向 ■基幹事業 ・歌の森運動公園【公園】 上) ·中央図書館駐車場整備【地域生活基盤施設(駐車場)】 ・生活に利用する社会資本を整備 ・射水市地域交流センター【高次都市施設(地域交流センター)】 し、生活利便性を向上させる。 ・歴史と文化を巡る道【高質空間形成施設(緑化施設等)】 ■提案事業 ・屋根付きバス停整備【地域創造支援事業】 整備方針3(交流人口の拡大) ■基幹事業 新たに散策エリアを形成するた ・下条川千本桜ポケットパーク【地域生活基盤施設(広場)】 ・**歴史と文化を巡る道**【高質空間形成施設(緑化施設等)】 めに必要となる拠点を整備す ■関連事業 る。 ・歴史と文化が薫るまちづくり事業 (H26~28) (射水市) ·(仮称)内川-小杉観覧船事業(㈱新湊観光船)

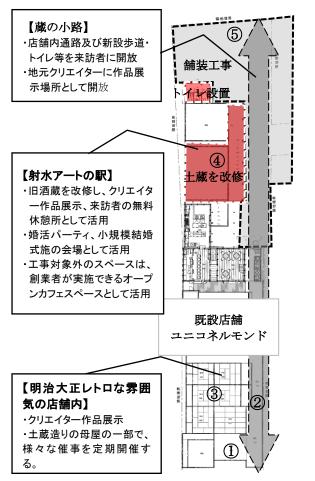
小杉地区(富山県射水市) 整備方針概要図 73,000 (平成32年度) ①公共公益施設の利用者数 (人/年) 61,541 (平成26年度 あいの風とやま鉄道小杉駅周辺におけるコンパクトで魅力あるまちづくりにより、 多世代が住み続けられるとともに、地域資源を活かし来訪者を呼び込む。 ②地区内人口 8,380 (平成27年度) 8,380 (平成32年度) 提案事業(地域創造支援事業) 屋根付きバス停整備 基幹事業(高質空間形成施設) 歴史と文化を巡る道 (仮称)内川ー小杉観覧船事業(民間) 関連事業 歴史と文化が薫るまちづくり事業(市) 基幹事業(地域生活基盤施設) あいの風とやま鉄道 小杉地区 A=194ha 1 2 2 基幹事業(地域生活基盤施設) 中央図書館駐車場整備 小杉駅を中心とした 射水市役所包 25 ·基幹事業 基幹事業(公園) 歌の森運動公園 · 提室重業 提案事業 (事業活用調査) 事業効果分析等 : 史跡

出典:「都市再生整備計画(第3回変更)"小杉地区"」(令和2年1月/射水市)

(3)地域経済循環創造事業

■射水市土蔵群で実現する「射水アートの駅」構築事業(地域経済循環創造事業交付金採択)

- ・イタリア食堂ユニコネルモンドに隣接する同店の旧酒蔵(土蔵)をアートギャラリーやハウスウエディング会場として利用できる空間「射水アートの駅」に再生。旧北陸道と下条川そばの公園を結ぶ遊歩道もあわせて整備し、地域の賑わい創出と活性化を目指すプロジェクトである。
- ・事業主体は旧酒蔵(土蔵)の所有者で、国の地域経済循環創造事業の交付金を受けて 2019 年秋に着工し 2020 年 3 月に完成。
- ・ 先行整備したイタリア食堂ユニコネルモンドに加えて、新たに整備する射水アートの駅は、 倉庫として使用していた土蔵を改装。 街歩きを楽しむ観光客が休憩したり、ハウスウエディングやミニコンサートなどを開いたりできる空間とする。
- ・リノベーション後は、「ブライダル」事業を中心に取り組み、近隣の美容室や貸衣装店、 写真館などのブライダル関連業者、また地元専門学校の学生も交えながら、婚活パーティーや小規模なウェディングを、昭和大正レトロな雰囲気の中で開催していく予定。
- ・旧北陸道に面している母屋の土蔵と中庭、イタリア食堂ユニコネルモンド、神明すぎの 森公園に隣接している土蔵を一本の動線で結ぶ「蔵の小路」全長約70mを整備する。こ れにより一帯の街歩きの回遊性を高め、将来的には店舗裏の公園を活用したガーデンウ ェディングの実施も想定している。



①蔵の小路 入口



②蔵の小路 予定地



③蔵の小路 予定地



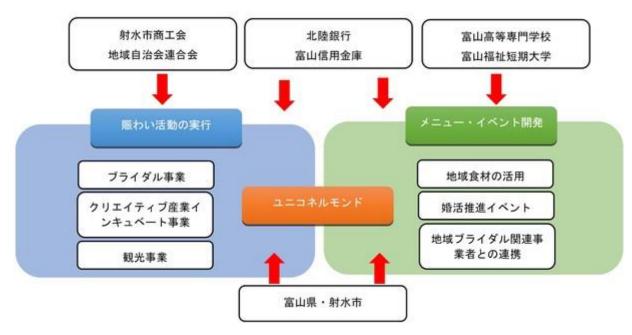
④射水アートの駅予定地(旧酒蔵)



⑤蔵の小路 舗装工事予定地



資料:射水市



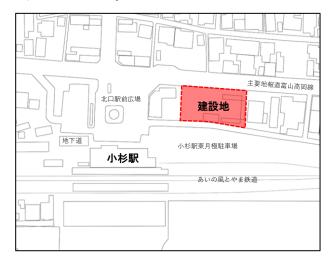
画像出典: READYFOR 株式会社ホームページ掲載記事

(4) ビジネスホテルの立地計画

■小杉駅前「スーパーホテル」の立地

- ・ビジネスホテルを全国で展開している「スーパーホテル」(大阪市)が小杉駅前に進出。
- ・2019年11月から準備工事に取りかかり、2020年1月に着工、同年12月の開業を予定。
- ・敷地面積約 1,400 ㎡。RC 造 7 階建、建築面積約 430 ㎡、延床面積約 2,800 ㎡、客室数 101 室、3 階には大浴場を備える計画。
- ・ビジネス客と観光客の両方の宿泊ニーズを見込んでいる。





出典:北日本新聞社 webun

- ・県内への進出は高岡市で2003年に完成した「スーパーホテル高岡駅南」(94室) に続いて2カ所目
- ・市は本年度、宿泊施設を新設する事業者に建設費の 20% (上限1億円) を助成し、固定資産税相当額を 10 年間支援する 制度を創設した。小杉駅や旧新湊庁舎跡地から半径1キロ以内など指定エリアに 80 室以上の旅館・ホテルを建設し、15 年 以上営業することが条件で、今回、進出を決めたスーパーホテルは制度適用の第1号になりそう。

(5) 小杉駅活性化に関する提言(小杉まちづくり協議会)

「小杉駅活性化に関する提言書」(令和元年 12 月 18 日/小杉まちづくり協議会・小杉駅活性化プロジェクトチーム)の概要を以下に整理する。

① 小杉駅整備にあたっての基本的考え方

- ・小杉駅の南北一体化(橋上化)を前提とする。
- ・学園未来都市射水のシンボルとし、若者が街に誇りや夢を持てる駅とする。
- ・射水市の強み(大学や研究期間が小杉駅近隣に集積、富山駅から10分かつ県の中心に位置する立地環境、子育て環境をはじめとした住環境の良さ)を最大限生かした駅とする。
- ・施設整備に係る財政負担が将来の重荷とならないように市の公共施設をできる限り小杉 駅に集約することを念頭におく。

② 小杉駅整備の具体的な展開アイデア

- 1) 研究・学習施設を併設し、学園都市の中核拠点とする
- ・創業支援(学生ベンチャーなど)のためのインキュベーション施設の整備
- ・カフェ併設の新図書館整備(市内既存図書館の集約整備)

2) 子育て支援や健康寿命延伸など地域課題を解決する拠点とする

- ・ 送迎保育ステーション (子育て支援施設) の整備
- ・健康寿命延伸(高齢者・サラリーマン世代)に向け、スポーツジムを含むスポーツ施設 の整備
- ・小杉地区センター(現時点では公共施設再編方針の対象外)の機能を小杉駅に集約し、 住民サービスほか観光案内等も行う複合行政拠点を整備

3) 射水市の玄関口として公共交通や賑わいの中核拠点とする

- ・ 小杉〜新湊間の水上交通の確立 (下条川の遊覧等)
- ・公共交通ターミナル整備(新湊地区はじめ市内観光地や市民生活の足の拠点とする)
- シェアサイクルやシェアバイクの拠点の整備
- ・小杉駅周辺に射水市の食の魅力を味わえる飲食店街を誘致(射水の食の魅力をアンテナショップ的に発信)

小杉駅の将来イメージ



出典:「小杉駅活性化に関する提言書」

第3節 地域住民の意向整理

市民アンケート調査及びワークショップ方式による住民意見交換会で得られた成果の中から、三ケ地区及び戸破地区の意見を抜粋して整理する。

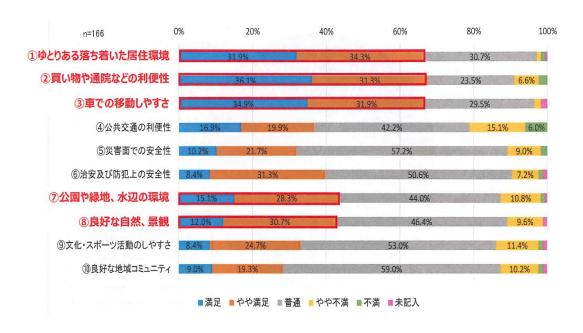
1 アンケート調査における意見のまとめ

(1) 市民アンケート調査(都市計画マスタープラン)

射水市都市計画マスタープラン策定の一環として平成 30 年度に実施した市民アンケート調査から、まちづくりに関わる主な項目について、三ケ地区及び戸破地区のデータを抽出し、両地区を一つにまとめて整理する。

〇地区の暮らしやすさ満足度

10項目全てで満足が不満を上回る。中でも①ゆとりある落ち着いた居住環境、②買い物や通院などの利便性、③車での移動しやすさの3項目は6割以上が満足。次いで⑦公園や緑地、水辺の環境、⑧良好な自然、景観は4割以上が満足。



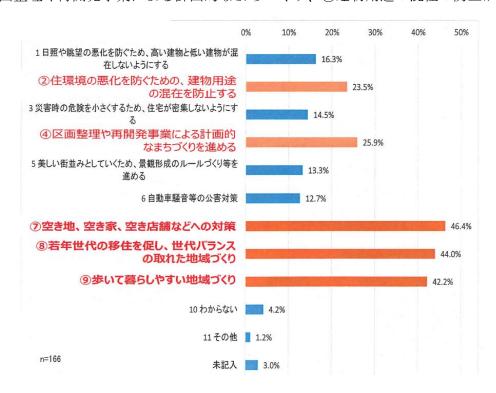
○整備の優先順位が高いもの

福祉や子育て関連施設の充実(③④)、日常利便を高める商業施設や公共交通等の充実(②⑦⑫)、災害や防犯対策の充実(⑥⑬)の優先順位が高い。

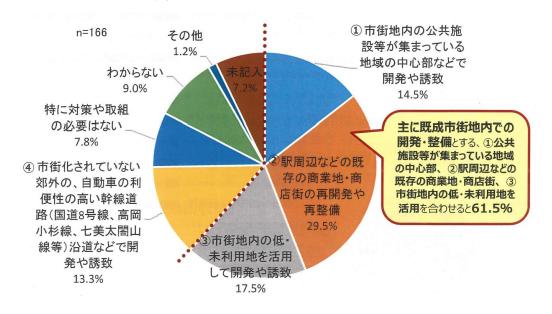


〇地域のまちづくり(住宅地)に必要な取組

⑦空き地、空き家、空き店舗などへの対策、⑧若年世代の移住を促進し、世代バランスのとれた地域づくり、⑨歩いて暮らしやすい地域づくりの回答が4割以上。次いで④区画整理や再開発事業による計画的なまちづくり、②建物用途の混在の防止が多い。

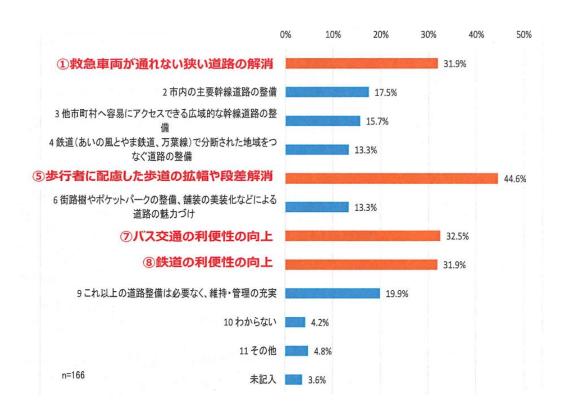


○地域のまちづくり(商業機能等の開発・整備)



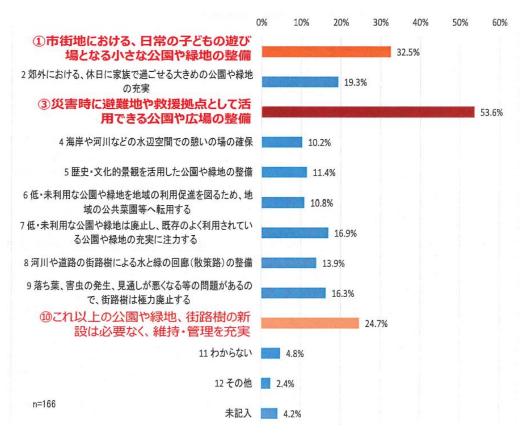
〇地域のまちづくり(道路、公共交通)に必要な取組

⑤歩行者に配慮した歩道の拡幅や段差解消の回答が約4割以上。次いで⑦バス交通の 利便性の向上、⑧鉄道の利便性の向上、①救急車両が通れない狭い道路の解消が多い。



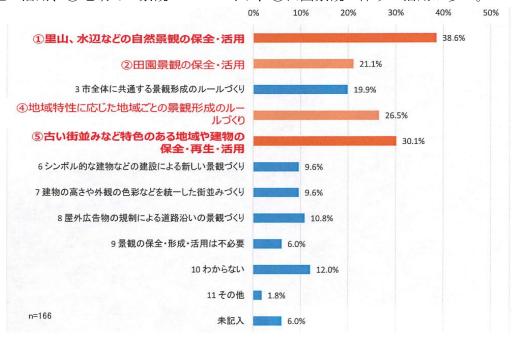
〇地域のまちづくり(公園緑地)に必要な取組

③災害拠点として活用できる公園等の整備の回答が5割以上。次いで①市街地内の日常の子どもの遊び場となる小さな公園等の整備、⑩これ以上公園等の新設は不要で維持管理を充実が多い。



〇地域のまちづくり(自然環境や景観)に必要な取組

①里山等の自然景観の保全・活用の回答が約4割。次いで⑤古い街並み等の保全・再生・活用、④地域での景観ルールづくり、②田園景観の保う・活用が多い。



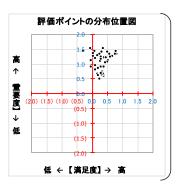
(2) 市民アンケート調査(まち・ひと・しごと創生創生総合戦略)

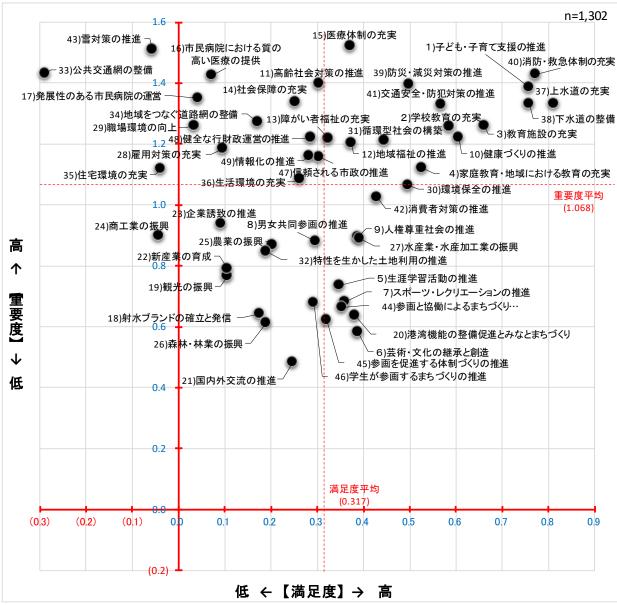
第2期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一環で令和元年度に市民を対象に実施 したアンケート調査から、市の施策に対する市民の満足度、重要度に関する回答結果をみ ると、「公共交通網の整備」「住宅環境の充実」「雪対策の推進」「商工業の振興」について 満足度が低い。

※満足度、重要度の点数評価(配点)の方法

- ・施策ごとに、下表の配点に基づき得点合計(Σ 回答数 \times 評価点)を算出し、 これの相加平均をもって各施策を代表する評価点とした。
- ・満足度、需要度の平均値は、各施策の代表評価点の相加平均により算出。

	評価点の設定				
	+2点	- 1 点	0 点	- 1 点	- 2点
満足度	とても満足し ている	満足している	どちらでもな い	あまり満足し ていない	満足していな い
重要度	とても重要	少し重要	どちらでもな い	あまり重要で はない	重要ではない





出典:「地方創生に関するアンケート調査集計分析結果報告書」令和元年度/射水市

2 住民意見交換会における意見のまとめ

都市計画マスタープラン策定の一環として令和元年度に三ケ地区及び戸破地区を対象 に実施したワークショップ方式による住民意見交換会で得られた成果(住民意見等)につ いて両地区分を一つにまとめて以下に整理する。

現況・課題

課題解決に向けた考え方・取組のアイデア 自助/共助/協働/公助

1) 良好な居住環境の維持・創出

〇高齢単身者及び空き家の増加

- ・空き家が増え、防災・防犯の問題がある
- ・空き家対策として他地域からの転入促進
- ・高齢者単身世帯が増加している ⇒ 空き家問 題の顕在化

〇小杉駅周辺の空洞化、居住環境の低下

- 〇アパートが増えている
- ・増加するアパート住民との関わりが希薄化
- ○公園、子どもの遊び場が少ない

〇バリアフリー対応

- ・公園のトイレが障がい者対応になっていない
- ・ 障がい者対応が不充分

〇日常の生活利便性

・北側においては、スーパーが少ない(買物難民の 発生)

〇除雪対策

- ・消雪装置が設置されていない所がある
- 雪捨て場がない
- ・道路の除雪が不十分(朝の始動が遅く、通勤・ 通学時に除雪が間に合っていない所がある)

〇空き家の活用

- 空き家をシェァハウス等として利活用
- ・空き家活用による住替え住宅供給(空き家をリニューアルしてアパート住民に供給する)
- ・小杉地区は学園都市なので、空き家を活用して 学生の住みやすいまちにして欲しい

〇高齢者住宅等の整備

- ・福祉短期大学の立地を活かし、連携してシェア 金沢のような三世代で仲良く暮らせるような 住宅地整備の推進
- ・医療機関と高齢者居住のセット開発(空き家の 解消)

〇安全・安心の環境整備

- ・通学路の安全性向上(道路・歩道の整備)
- ・防犯カメラの設置
- 下条川の洪水対策

〇除雪対策

・雪対策(1人暮らし)

2) 小杉駅周辺における「にぎわい」の維持・創出

〇駅前(北口)は店舗等の集積がなく、人通りも なく寂しい

- ・駅付近は空き家が多く、商店街の賑わいを消失
- ・駅の北側が寂しい
- ・平日、駅前通りに人通りがない

○駅周辺建物等の老朽化、景観の悪化

- ・駅周辺は古い家が多く、見栄えが悪い
- 〇店舗の営業時間が短い
- ・閉店時間が早いので、結局市外の商業施設へ行ってしまう

○学生の街らしくない

- ・学生が多くいるはずなのに学生の姿がみえない
- ・学生の遊ぶ所、食べる所が少ない

○小杉駅舎の整備及び南北自由通路の整備

- ・橋上駅舎に建て替え、イベントスペース確保
- ○駅を活用した人々が集う機能集積・場所づくり
- ・小杉駅に保育所、公民館、図書館分館等の誘致
- ・駅の近くに、若い人が集まり交流できる場確保

○地域の魅力の向上

- ・文教ゾーンとしての更なる充実(魅力を高める)
- ・大学の誘致、集客施設の整備等

○駅周辺公共空間の活用

- ・駅前の道路を止めて納涼祭を!
- ・小杉駅横の駐車場の有効活用(公園にする等)

〇小杉駅周辺の賑わい創出

・夜間の、にぎわいの創出(他との交流の時間)

〇安全・安心の強化

- ・町内の路地裏の市道で街灯照明が暗い所がある。町内全体を明るく危険区域をなくしたい。
- ・空き店舗活用のコーディネートが必要…商工会
- ・企業と地域が連携して、企業を巻き込んだ賑わ いづくり

3) 小杉駅周辺の基盤整備

〇南北市街地分断の解消

- ・鉄道で南北が切断されている
- ・小杉駅は玄関口であると共に、あいの風鉄道は 南北を分断している

○駅南北の連絡の円滑化(踏切渋滞の解消)

- ・小杉駅西側の踏切周辺が混雑している
- ・鉄道と旧8が邪魔。南北道
- ・小杉駅南北の地下通路の老朽化→高齢者が移動 しづらい

○道路幅員が狭い

- ・コミセンの周辺の道路の道幅が狭い(車の接触)
- ・市道、町道の整備が途中で止まっている
- ・踏切の道路幅が狭い

〇北口駅周辺の再開発(市営駐車場、駐輪場の活用など)

○駅周辺の基盤整備

- ・歩道の整備
- ・小中学生の通学路の整備
- 電柱の地下埋設
- ・小杉駅周辺の土地区画整理
- ・小杉駅前に時計の設置

○駅南北をつなぐ道路等の整備

- ・小杉駅を中心とした南北道路の拡充。踏切の拡幅(西部9号横等)
- ・国道8号の高岡方面からの集客を図るため、駅 から8号までの道路の拡張
- ・駅西の既存南北道路が旧8号に取りつく一番町 交差点での右折渋滞→右折信号の設置

4)公共交通機能の維持・充実

〇バスの不便さ

- ・バス運行本数が少ない。ルートが悪い(行きたい所へ廻らない)
- ・バスのルートは多数あるが、乗り継ぎが不便
- ・新湊地区との交通が不便 (バス・車) 高岡廻り
- ・コミュニティバスの南北方向が少ない

○鉄道の増便

・あいの風の本数を増やすべき

〇バス運行ダイヤ、ルートの見直し等

- ・小杉駅発着のコミュニティバスの充実
- ・コミュニティバスは現状ピストン運行のみ。観 光地めぐりができるルートが欲しい

〇地域間交通の強化

・新湊、小杉、大門、大島、下間の連絡強化、回遊化

〇歩いて暮らせる地域を目指して交通機関の充実

・小杉駅からの利便性、乗り継ぎ交通機関の利用

〇バス停待合施設の整備

- ・小杉駅南口のバス停に待合室設置を検討
- 〇デマンドタクシーの運行

〇万葉線の延伸

・中新湊~小杉駅まで万葉線でつなぐ~あいの風 へ乗り入れ

〇民間協力による P&R の推進

・アルプラザとの連携でパーク&ライド

5)地域の歴史や文化を活かした魅力づくり

〇地域の歴史・文化のアピール不足

- ・歴史や文化に関しては、他所からの移住者には わからない。知らない人が多い。
- 祭りが少ない

○歴史ある街並みの消失

・旧北陸道の街並を構成している建物が、老朽化 あるいは取り壊されている

○地域の歴史・文化を伝える人材、体制づくり

- ・語り部による継続性(語り部の養成)
- ・地域の歴史・文化の発信
- ・旧北陸道のイベントを、内川並みの頻度で行う
- ・学びの場の整備(空き家活用)

〇歴史的な街並み保全等に対する支援

・町家の外観保存のための修景事業及び歴史・文

- ・街道は狭い
- ・旧北陸道、食事する所が無い

化遺産としての積極活用補助支援

・旧街道まちなみアート展への補助と通路の整備

〇旧街道の資源を結ぶ

・十社大神、旧銀行(小杉展示館)、源蔵記念館、 藤井右門廟を線で結ぶ

6)地域コミュニティの維持・充実

〇コミュニティの高齢化と高齢者の居場所不足

- ・若者、子どもが少ない。高齢者が多い
- ・高齢者の憩いの場所が少ない

〇コミセン施設の拡充

・戸破コミュニティセンターが古く、狭い。人口 規模に見合った憩いの場が必要

○地域でのつながりの希薄化

- ・コミュニティ内の人間関係が希薄化
- ・旧小杉町、旧大島町で隔たりがある

〇コミュニティの担い手

- ・1 人暮らしの高齢化世帯が多い
- ・若い方と年配の方との交流が少ない。
- ・若い人の参加が少ない

〇増加する外国人との付き合い方

・増加する外人対策(教育、交流)

〇世代間の交流、既存施設の活用

- ・地区公民館の活用
- ・子育て世代とシニア世代の交流
- ・コミセンと保育園、児童館との連携を図り、老 人、子供の地域交流を深める

〇地域人材の発掘

- ・隠れた才能の発掘(特技等)
- ・若者をコミュニティに引き出す

〇コミュニティ活性化の仕組みづくり

- ・ 高齢者が集える場づくりと世話人ボランティア の組織化
- ・若い人の組織(青年団的なもの)つくってみる
- ・増加している外国人住民の受入れ、地域活動へ の参加が出来る仕組み作り
- ・新たな行事の創出、永く続く行事

7) 自然環境を活かした魅力づくり

〇下条川の環境改善と水辺空間活用

- 下条川の水質が悪い
- ・下条川の整備 (ゴミ問題、中州の草)
- ・下条川散歩道、もっと長い方が良い
- ・下条川を活用した整備が必要

〇下条川の水辺環境の活用

- ・下条川で釣りが楽しめる環境づくり
- ・下条川沿いウォーキングルートの充実
- ・下条川沿いの桜並木の延伸(伊勢領橋~橋下条 橋間)

〇下条川を軸とした周辺地区との連携

・海の文化と連携し、回遊性を高める(下条川の活用)

3 学生意見交換会における意見のまとめ

「小杉駅周辺の将来について」をテーマに、令和元年度に市内の高等教育機関に在籍する学生を対象に実施したワークショップ形式による意見交換会で得られた意見等を以下に整理する。

	理想の小杉駅周辺	今の小杉駅周辺	どうしていくべきか?
行きたい (あれがある からいってみ よう)	 ・好きな飲食店(魂心家、くるまやラーメン)がある ・おしゃれなカフェ(タリーズ)がある ・複合アミューズメント店(ラウンドワン)一人カラオケ、映画館がある ・アウトレット店がある ・アルプラザの中身をマリエ化 ・飲食店、雑貨店が立地する地下街がある(高岡駅地下街のように) ・インスタ映えスポットがある(夕日と線路が綺麗に撮影できる。星が見える) 	・一つ一つがしょぼい ・駅舎内に店舗がかかい ・駅前にも店舗が少ない ・南北を結ぶ地下通路 ・南北を結ぶ地ので は不でで利用した。 ・電車待ちの時間を で がない ・電に、楽ない	・フの開生 ・フの開生 ・フの開生 ・フの開生 ・フの関チンのができるです。 ・フの関チンのができるできるででででででいます。 ・駅のができるできるできるできるできるできるできます。 ・オールのはいるできるできるできる。 ・オールのはいるできるできる。 ・インのはいるできるできるできる。 ・インは、・インは、・インは、・インは、・インは、・インは、・インは、・インは、
そこにい たい (こんな場所 ならしゃべっ ていたい、友 達と過ごした い)	・勉強できる場がある(カフェ等併設) ・コワーキングスペースがある ・フリースペースがある ・高規格 Wi-Fi が整備されている。コンセントが使える ・図書館や漫画図書室(無料)がある ・水を使った美しく安らぐ空間、面白く楽しめる空間がある(射水の水をアピール) ・緑豊かな空間がある(屋内緑化、公園等) ・自宅のように安心して利用できる綺麗なトイレや休む場所がある	 ・待合室にはいつも同じってあったない ・待合室が飾っての事らない ・待合室料駐車場)が馬舎の色が汚い、怖い・駅舎の色が汚い、怖い・投風景である・広場がなない(人がる)・広場がるて楽したの閉店時間が早く、品揃えも悪い 	 ・イベントスペースの確保 ・駅前無料駐車場の拡張(2倍程度はしい) ・照明を検討する(温かさを感じる色、演出) ・BGMを流す・バスでスイカがするようになるようになるよりになるようになるよりになるによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに
やりたい (小杉駅周辺 でもあれがで きればいいの に)	 ・VTuber スタジオ (ライブができる) がある ・大画面でゲーム、実況動画が楽しめる場がある ・多目的オープンスペース (イベント会場等)、遊び空間がある ・展示スペースがある (市民による自由な表現の場、若い芸術家の活動の場) ・音楽表現スペースがある (自由に利用できるピアノ設置など) ・スポーツ、エクササイズが楽しめる場がある (テニスコート、ボルダリング、体育館など) 	・2、3人で気軽に遊べる場所がない	・いみず祭り、鍋祭り、ラーメン祭りの開催・人を呼び込むイベント開催

第4節 課題の設定

小杉駅周辺地区における現況や上位計画における位置づけ、地域住民の意向等を踏まえ、地域の課題について整理する。

小杉駅周辺地区の位置づけ・役割と課題 位置づけ・役割 課題 多様な都市機能のコンパクトな集積に 射水市の「都市中核拠点」エリアの中 心核の一つ よる魅力の創出と賑わい形成 都市中核拠点は生活の拠点でもある 安全性・利便性の高い居住環境の維持・ 充実 射水市の陸の玄関口であり、広域交通 道路・公共交通ネットワークの強化 と市内交通の結節点(交通ターミナル) 地域の豊かな歴史・文化、自然環境の 地域の特色である歴史・文化、豊富な 自然環境 保全と活用 文教ゾーンとして学生の参加による魅 地域の特色である文教ゾーン 力づくりの推進

〇射水市の「都市中核拠点」エリアの中心核の一つとしての位置づけに対して

課題1 多様な都市機能のコンパクトな集積による魅力の創出と賑わい形成

- ・駅のアクセス性、集客力を生かし、小杉駅周辺への多様な都市機能立地の誘導
- ・小杉駅の南北を一体的にとらえた賑わい空間の形成
- ・商業施設の誘致による地域経済循環の強化

○都市中核拠点は生活の拠点でもあることに対して

課題2 安全性・利便性の高い居住環境の維持・充実

・空き地、空き家の有効活用、生活環境改善、防災性能の向上

- ・地域コミュニティの維持、充実
- ・歩いて暮らせる、歩いて楽しい地域づくりの推進
- ・バリアフリー化の推進

〇射水市の陸の玄関口、広域交通と市内交通の結節点としての位置づけに対して

課題3 道路・公共交通ネットワークの強化

- ・多様な2次交通機能の乗り入れ拡充と乗り継ぎの利便性の向上
- ・周辺地域との公共交通ネットワークの強化
- ・鉄道を横断する南北交通の強化(人・車の円滑交通)
- ・駅利用者の利便性向上ともてなし機能の充実
- ・観光資源が豊富なベイエリア周辺等との連絡の利便性の強化

〇地域の特色である歴史・文化、自然環境が豊富ということに対して

課題4 地域の豊かな歴史・文化、自然環境の保全と活用

- ・旧北陸街道筋での街並み形成と歴史・文化資産の活用
- ・下条川の水辺環境・景観の保全、活用(安らぎ・憩いの親水空間、散策空間の拡充)

〇地域の特色である文教ゾーンとしての位置づけに対して

課題5 文教ゾーンとして学生の参加による魅力づくりの推進

- ・学生を街に呼び込む仕組みづくり
- ・学生の定着を促す仕組みづくり
- ・学生の居場所づくり

第2章 地域の活性化に向けた施策の方向性の整理

第1章で整理した小杉駅周辺地区の現況及び課題を踏まえ、当該地区において地域の活性化に向けて取り組むべき施策の方向性について整理する。

1 小杉駅を中心とした都市機能の集積と賑わいの形成

(1) 小杉駅の駅舎及び周辺の低利用・未利用空間の有効活用による都市機能集積 誘導

- ・駅のアクセス性、集客力を生かし、駅周辺への日用品・サービス店舗、医療・福祉施設、子育て支援施設等の立地誘導
- ・駅舎の多機能複合化、駅前低利用空間の再開発の検討
- ・駅舎の南北一体化の検討

(2)歩いて楽しい地域づくりの推進

- ・空き店舗等の活用促進による既存商店街の活性化
- ・既存の公共空間・施設等を活用した市民の交流場所、休憩場所等の整備
- ・公共施設や商店街等を結ぶ快適な歩行空間ネットワークの整備

(3) 文教ゾーンとしての魅力づくりの推進

- ・学生にとって居心地のよい居場所づくり
- ・学生が勉強(活躍)できる場・機会づくり、学生同士及び市民との交流の場・機会づくり

2 安全性・利便性の高い居住環境の維持・充実

(1) 市街地内の空き地・空き家等、低利用・未利用物件の有効活用

- ・低利用・未利用地の計画的な整備(土地区画整理の検討)
- ・良好な住宅ストック(空き家等)の活用(住替えなどによる不動産流動化の促進)

(2) 生活道路の改善整備

- ・通学路等の安全対策(歩道設置、自転車レーンの整備等)
- ・狭隘道路の拡幅、行き止まり道路の改善

(3)地域コミュニティの維持・充実

- ・住民の交流などの活動(活躍)の場・機会の充実
- ・担い手やリーダー人材の発掘・育成

(4) 災害対策の充実

- ・下条川の洪水対策、低地エリアでの雨水排水施設の増強
- ・防災空間の適正配置、避難施設の充実

3 道路・公共交通ネットワークの強化

(1)小杉駅における多様な2次交通機能の乗り入れ拡充と乗り継ぎの利便性の向上

- ・小杉駅の乗り継ぎ機能の整備(乗り継ぎの円滑性と待ち時間等の快適性等の確保)
- ・小杉駅の橋上駅舎、南北自由通路の整備検討
- ・デマンド型交通や新たな交通手段の導入の検討
- ・パーク&ライド駐車場・駐輪場の整備

(2) 周辺地域との公共交通ネットワークの強化

- ・公共交通による周辺地域や拠点施設との連絡の強化
- 新たな交通システムの導入等による地域間の連絡強化
- ・観光資源が豊富なベイエリア周辺等との連絡の利便性の強化

(3)鉄道を横断する南北交通の強化(人も車もスムーズに)

- ・ 小杉駅周辺の南北道路の拡充(拡幅、歩道設置等)
- ・ 踏切の拡幅検討

(4)駅利用者への快適なサービス機能、もてなし機能の整備

- ・観光情報案内所、シェアサイクル等の整備
- ・待ち時間を快適かつ有意義に過ごすためのサービスの充実と空間整備
- ・観光ボランティアガイド等の充実
- ・駅舎や駅周辺でのバリアフリー化の推進、ユニバーサルデザインの導入

4 地域の豊かな歴史・文化、自然環境の保全と活用

(1) 旧北陸街道筋での街並み形成と歴史・文化資産の活用

- ・歴史を感じる建造物や歴史・文化資源を活かした街並みの保全・形成
- ・歴史・文化イベントの継承・創出、情報発信の充実

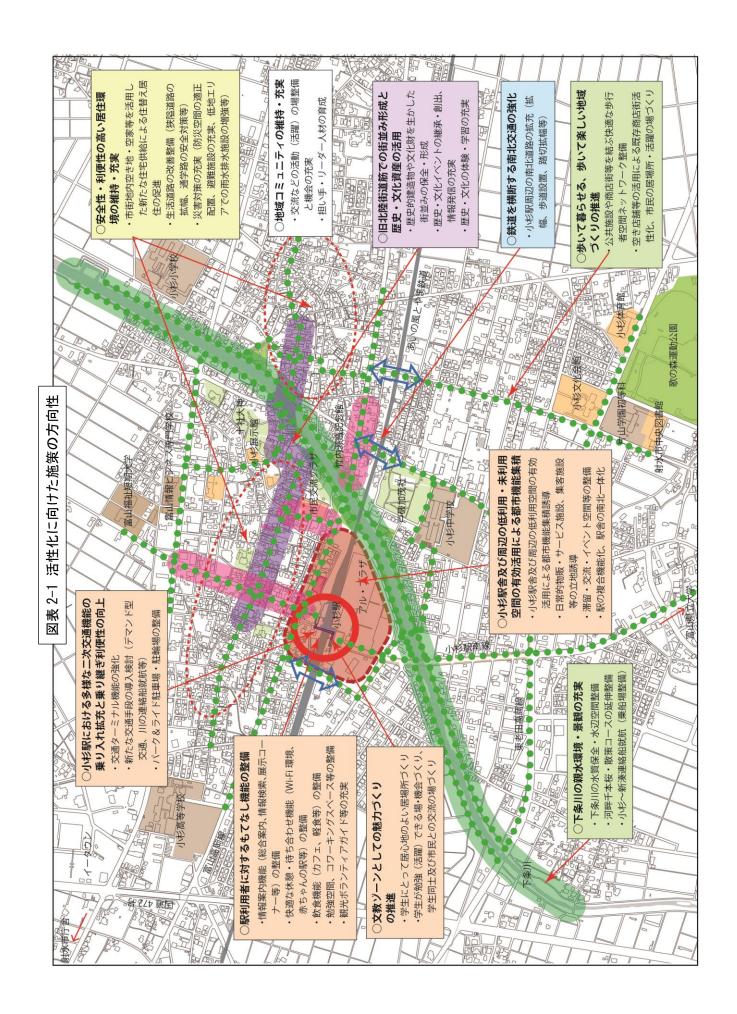
・歴史・文化の体験・学習の充実

(2)下条川の親水環境・景観の充実

- 下条川の水質向上と水辺空間の活用
- ・景観の充実(千本桜の延伸等)
- ・下条川を活かした小杉〜新湊間の遊覧船の就航と発着場整備の検討

(3)歩行者ネットワークの整備(歩いて楽しい歩行者空間及び沿道整備)

- ・歴史、文化、緑地空間を活かした歩いて楽しい歩行者ネットワークの整備
- ・河畔ウォーキングコースの延伸、休憩施設等の配置



第3章 施策の方向性の具体化検討のための参考事例の収集

第2章で整理した施策の方向性に類似する他地域の取組み事例を収集し、当該地区のま ちづくりの参考となる学ぶべき点等について深堀して整理する。

1 駅舎に複合機能の集積

(1) 石動駅(橋上駅舎·自由通路·図書館併設)

あいの風とやま鉄道「石動駅」の橋上駅舎・自由通路・図書館合築の事例

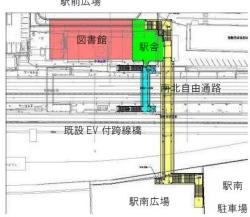


出典:小矢部市ホームページ(石動駅周辺整備事業)

① 橋上駅舎・自由通路の整備

- ・橋上駅舎・南北自由通路開通(2018年11月27日)
- ・1階:市観光案内所、多機能トイレ、エントランスホール
- ・2階:改札口、駅事務所、待合室(喫茶コーナー併設)、飲食物販施設
- ・自由通路:幅4m、延長115m
- ・エレベーター2基
- ・工事期間:南北自由通路・駅舎 (2015 年度~2018 年度)、図書館 (2018 年度~2019 年度)
- ・工事費:南北自由通路、新駅舎整備、旧駅舎の

駅前広場



▲石動駅周辺整備計画図

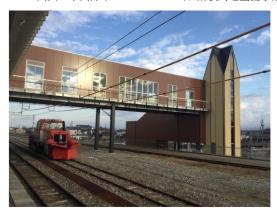
出典: 平成 29 年度都市再生整備計画事業事例集 (北陸地方整備局)

解体撤去に約19億円(国の社会資本整備総合交付金を活用、市とあいの風とや ま鉄道が負担)

(市は、南北自由通路工事:3億1640万円、南北自由通路・観光案内所等工事:3億8320万円、駅舎工事:9360万円、既設エレベーター跨線橋階段増設工事:1億80万円などを計上)・・・北陸工業新聞社2016.6.23より市は、15億1400万円で工事委託・・・北陸工業新聞社2016.12.7より



出典:小矢部市ホームページ(石動駅周辺整備事業)





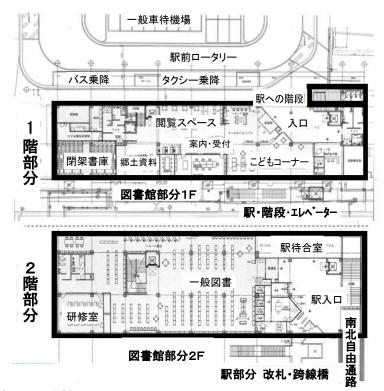
南北自由通路の外観と内部

② 図書館

・新駅舎に小矢部市民図書館を合築(2020年3月26日開館)

構造	鉄骨造2階建て		
延床面積	約 1,700 m²		
収納可能冊数	約18万冊 うち開架冊数 約10万冊		
閲覧席	約 110 席		
諸室、コーナー等	1. 一般ゾーン(一般図書コーナー、ブラウジングコーナー、ティーンズコ		
	ーナー、研修室)		
	2. 子供ゾーン(こどもコーナー、多目的コーナー、授乳室)		
	3. くつろぎ・安らぎ・交流ゾーン (ブラウジングコーナー、喫茶コーナー、		
	AV コーナー)		
	4. 地域ゾーン(地域資料コーナー)		
	5. 情報検索・相談ゾーン (レファレンスコーナー)		
総工費	10億5,000万円 (社会資本整備総合交付金事業の一環)		

出典:小矢部市ホームページ



③ 市営駐車場·駐輪場

- ・駅北口に130台規模の駐車場と駐輪場。
- ・駅南口に、橋上駅舎化時に112台規模のパークアンドライド駐車場と駐輪場を整備。



石動駅前の市営駐車場・駐輪場の配置

資料:小矢部市ホームページ

(2) 越中舟橋駅(駅舎と一体的な舟橋村立図書館)

富山地方鉄道「越中舟橋駅」の駅舎と一体的な舟橋村立図書館の事例

・1989年に越中舟橋駅整備について検討開始、翌年「ふるさと環境整備計画」により、駅舎に図書館を併設することを決定、1996年建設着工、1998年4月オープン。

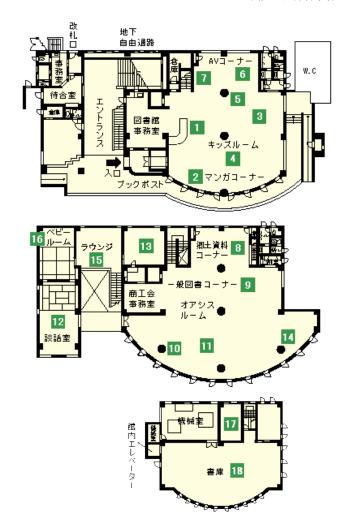
構造	RC3 階建て
延床面積	約 1,518 m²
諸室、コーナー等	1階:児童・AV コーナー、2階:一般コーナー、3階:書庫
登録者数、貸出冊数	2004年3月末時点での登録者は、11,032人(内村民1,716人)
	貸出冊数は年間約 151,000 冊、住民 1 人あたりの貸出冊数は 55.8 冊

・村民にとって利用に便利な位置にある駅 に併設したこと、また沿線自治体の住民が 利用しやすいことなどから、多くの人々に 利用され、高い貸出状況になっている。

(上市・立山町からの電車通勤、通学者 が途中下車し、閉館時間まで図書館を利 用することが多い。)



出典: 文部科学省ホームページ (これからの図書館像-実践事例集)



【1階】

- 1受付カウンター
- 2 絵本コーナー
- 3児童図書コーナー
- 4マンガコーナー
- 5 ビデオ・CD コーナー
- 6 ビデオ視聴・リスニングコーナー
- 7コンピュータ、インターネットコーナー

【2階】

- 8郷土資料コーナー
- 9一般図書コーナー
- 10 ブラウジングコーナー
- 11 雑誌コーナー
- 12 談話室
- 13 会議室
- 14 閲覧コーナー
- 15 ラウンジ
- 16ベビールーム

【3階】

- 17書 庫
- 18 整理室

出典: 舟橋村ホームページ

【一体化事業の概要・実際】

・村として自立した行政の実現のためには、駅周辺の活性化を抜きには考えられないとし、 無料駐車場を整備し、村の財源で駅の改築も行った。村では、国庫補助等の補助金制度 を活用しつつ地鉄の駅およびその周辺に、1993 年から通算で 10 億円を超える投資を行 っている。その投資の金額は、駅舎の改築、駅前駐車場、及び村内線路上の踏切改良事 業などに使われた。(表 1) 当時の人口が 1,800 人、村の総予算約 13 億円を考え合わせ ると、大事業であった。地域総合整備事業債の借入もある。

表1. 合築駅舎及び駐車場改良工事関連出費総額(単位:千円)

事業内容	事業費	内補助金等
駅前駐車場整備工事	4, 581	0
魅力あるまちづくり事業 (駅前時計台)	20, 210	5, 000
魅力あるまちづくり事業 (公衆トイレ・駐輪場)	30, 475	10,000
道路改良工事(舟橋踏切拡幅)	88, 306	38, 500
文化福祉複合施設(図書館・駅)	609, 132	40, 000
地下自由通路	161, 782	0
駐車場用地買収	3, 921	0
駐車場道路新設	28, 097	0
駐車場整備事業(整備費及び賃貸借料 H5 年~12 年)計	53, 693	
合計	1, 000, 197	93, 500

出典: 文部科学省ホームページ (これからの図書館像-実践事例集)



250 台収容の無料のパーク&ライド駐車場



250 台収容の無料のパーク&ライド駐車場

出典: 文部科学省ホームページ (これからの図書館像-実践事例集)

(3) 美川駅(駅舎とカフェ・コミュニティプラザ)

国の「生涯活躍のまち」のモデルとなった「シェア金沢」などを運営する社会福祉法人「佛子園」がJR美川駅の指定管理を受託し(就労継続支援A型事業による駅舎指定管理は日本初)、駅舎内における美川37Cafe等を運営している。

■美川 37 Cafe (37=みんな)

所在地 石川県白山市

延床面積 300 ㎡ 工事種別 改修

構造RC 造、2 階竣工2012 年 10 月



- ・美川 37 Cafe は J R 美川駅構内にある既設の待合所を改修した、コミュニティスペースであり、障害者の就労支援施設である。
- ・駅の利用者が気軽に立ち寄れ、地域の食文化やアーティストの作品との出会いを得られる場所であり、単に飲食の場所ではなく、社会に開かれ、文化を育む場として機能することを目指している。
- ・店内外はワンルームをオープンカフェ、カフェダイニング、カフェリビング、ギャラリーとゾーニングし、その空間に応じた北欧のヴィンテージ家具、照明器具、観葉植物を配することで、それぞれの空間を特徴付けている。



出典:美川 37Cafe ホームページ

2 学生、市民の活躍の場、交流の場

(1)「まちなか交流広場"ステージえんがわ"」(新潟県三条市)

生涯にわたり健康で幸せに暮らし続けられる「スマートウエルネス三条」を推進する三条市が、スマートウエルネス三条を体現するための象徴的な施設として、「まちなか交流広場"ステージえんがわ"」を整備し、平成28年3月に供用開始した。

誰もが気軽に立ち寄ることができる「縁側」のような空間は、ヒト・コト・マチをつなげていくハブ機能を有し、施設の開放的な設えにより、年齢を問わず、外出機会の創出、コミュニティの形成につながる。持続可能な新しいまちづくりを目指す新たな拠点となっている。







うたごえ喫茶ー緒に歌を歌うことで、一体感ができコミュニケーションが生まれます。







65歳以上の劇団 自分が役になりきること、発表会の緊張感など皆さんイキイキと演じています。







毎週金曜日の公開生放送を聞きに、たくさんのリスナーでにぎわいや笑い声 がたえない空間です。



あおぞら縁台将棋 その場で出会った人と一局指して楽しみながら、技術の切磋琢磨が伺えます。



えんがわ結婚式 実際に人前式をあげ、お散歩中の方や見に来ていた方に立会人になって いただき地域でお祝いしてもらいました。



やさしい紙工作 集中して指先を使うことで刺激になり、季節の花や行事を折ることで毎月の 楽しみができています。

出典: 三条スパイス研究所ホームページ

①所 在 地:新潟県三条市元町 11 番 63 号

②敷地面積:1,694 m²

③延床面積:278 m² (木造平屋建て)

④事業期間:平成 26~27 年度

⑤施 行 者:三条市

⑥総事業費:総事業費244百万円(工事費162百万円、委託料71百万円、その他11百万円)

⑦資金調達:交付金(都市再生整備計画事業・地方都市リノベーション事業)103 百万円、

起債 92 百万円、一般財源 49 百万円

⑧施設概要:広場·食堂

⑨管理運営:三条市

(2)「金沢学生のまち市民交流館」

【学生と市民のまちなかの交流拠点】

「金沢学生のまち市民交流館」は、学生と市民のまちなかの交流拠点として金沢市が設置した施設で、「学生の家」「交流ホール」の2つの建物からなる。

施設内には誰でも無料で利用できるフリースペースと有料の会議室等がある。

※会議室等は、学生で構成する団体、高等教育機関、町会その他の地域団体等は無料で利用できる。



金沢学生のまち市民交流館 学生の家 (2012年8月竣工)

出典:金沢学生のまち市民交流館ホームページ(金沢市)



土蔵(どぞう) (フローリング20帖、収容人数15人)



(和室81帖、収容人数100人)





和室・通り間(和室12.5帖)

【施設整備概要】

①所 在 地:石川県金沢市片町2丁目5番 17 号

②地区面積:1,458.89 m²

③延床面積:891.13 ㎡(地上2階) ④事業期間:平成22~24 年度

⑤施 行 者:金沢市

⑥総事業費:275 百万円(学生の家工事費154百万円、交流ホール工事費121百万円)

⑦資金調達:補助金(街なみ環境整備事業)136百万円、起債125百万円、一般財源14百万円

⑧施設概要:

[学生の家] 木造瓦葺き2階建て、建築面積:370.82 ㎡、延床面積:592.58 ㎡

※大正 5 年建築の金沢市指定保存建造物である旧佐野家住宅の修復と耐震

性向上を図ることにより学生と市民との交流が図られる学生の活動拠点施 設として整備

[交流ホール] 鉄骨造瓦葺き平屋建て、建築面積:317.65 ㎡、延床面積:300.20 ㎡ ※平成 12 年に解体し、保管していた昭和初期の旧料亭大広間(約 80 畳)の部材(柱、敷鴨居、長押、回縁、建具、格天井等)を再利用し、様々な発表の場や大学の学習活動などに利用できる場として整備

⑨管理運営:金沢市(学識者、大学、NPO、地元住民、学生による運営会議を組織)

3 勉強、コワーキングスペース、スタジオ

(1) 利府町まち・ひと・しごと創造ステーション「tsumiki」

○コンセプト・使い方

tsumiki(つみき)は、ワークスペース、カフェ、起業・創業などの相談の場、ゆったりくつろげる空間などとして、個人、団体を問わず、だれでも使用することができる場。

施設のデザインや機能には、町民ワークショップで話し合ったアイデアが盛り込まれ、 使い方しだいで「居心地の良い空間」を創出していくことを目指している。

(ワーク) フリーWi-Fi、コピー複合機(有料)を配備。書類づくりや少人数での打ち合わせなど、仕事場として利用できる。

(相談) 起業・創業や NPO・市民活動、ボランティアに関する相談会を実施。専門のスタッフが対応する。

(交流) テーブルや備え付けの家具は可動式になっており、フレキシブルに変化する空間で、多くの人と交流ができる。

(カフェ) 施設利用者には、コーヒーなどの飲料もサービス。ゆっくりくつろげるカフェ として利用できる。

(物販) 委託販売スペースでは、地域に根ざしたお菓子や雑貨などの販売・購入がでる。



- 一こ・あきない塾
- -こ・あいない市
- ーセレクトショップ (委託)
- ーつみきラジオ
- -つみき本棚
- -もくようマルシェ
- ーライター塾
- 一交流会しゃべりBAR
- 一利府 RiFu-Co-Labo

○使用料

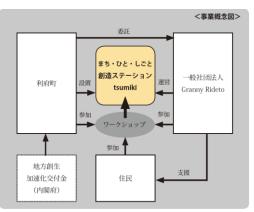
出典:一般社団法人 Granny Rideto ホームページ

- ・交流スペース(ワンドリンク付)3時間未満250円、3時間以上500円
- ・委託販売スペース(出品)食品:売上の10%、物品:売上の15%
- ・直接販売スペース(出店) 1 m³あたり500円/日

※小学生未満の利用、委託販売等の購買のみの入館、各種相談のための入館、その他座席を使用

しない一時的な入館は無料

- ○設置者:利府町(宮城県)
 - ・利府町が地方創生加速化交付金(内閣府)を活用し2016年11月にオープン。
 - ・利府町の地域資源を活かした魅力あるしごとづくりや、まちづくりを担う人材・団体 の育成や交流・連携を通して、町の新たな価値を生み出すことを目的とした施設とし て整備。
 - ・仙台市のベッドタウンとして発展した利府町に、住むだけではないプラス α の満足度 をつくるための政策的な拠点として位置づけられており、駅前のにぎわいづくりやコミュニティビジネス・創業支援、シティプロモーション等、さまざまな目的を持たせている。
 - ・実際に同スペースは、テレワーカーだけでなく、まちづくり関係者やカフェ利用者、学生等、さまざまな人たちがさまざまな目的・用途で利用しており、ちょっとした会話からコラボレーションが生まれている例もある。また、施設のオープン後すぐに、起業・創業セミナーや「にこまるマーケット」等のコラボイベントが開催されており、テレワークスペースを活用した、さまざまな事業が企画されている。



出典:「地域を元気にするテレワークセンター 事例集」H29年3月(国土交通省)

- ○管理運営(業務委託者): 一般社団法人 Granny Rideto
- ○施設面積:131 ㎡○場所:利府駅前



出典: Google 航空写真

○tsumiki 運営事業

- ・事業期間: 平成29年度から平成31年度まで
- · 総事業費: 24,140 千円 (平成30 年度分)
- ・財源内訳:地方創生推進交付金12,070千円、一般財源12,070千円

出典:利府町ホームページ

○施設空間





出典:利府町ホームページ

○多様な使われ方







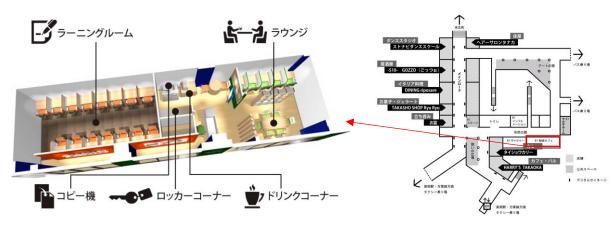
出典:一般社団法人 Granny Rideto ホームページ

(2)「高岡勉強カフェ」大人のための自習室

"大人がゆっくり勉強できる場所がない"そんな思いから生まれた施設。静まり返った自習室とは違い、音楽が流れ、カフェのような空間で人目を気にせず、ゆっくりと勉強ができる場所。また、会員の勉強仲間作りにも積極的に取り組んでおり、常駐のスタッフが会員の目的達成をアシストし、学ぶ大人を応援。

勉強カフェ事業は(株)ブックマークス(東京都)が創業し、全国展開している。

高岡勉強カフェは、クルン高岡地下街にテナントとして入居し、(株) ブックマークスが 運営している。



勉強カフェの室内パース

クルン高岡地下街平面図 (勉強カフェの位置)







マルチルーム



ラーニングルーム

出典: benkyo-cafe 高岡ホームページ

○プラン会員料金

F フルタイム 12,500円	◇全日、10:00~閉店までご利用いただけます
R レギュラー 7,800円	◇平日は17-22時、土日祝は10:00~閉店までご利用いただけます
RF レギュラーフレックス 7,800円	◇「レギュラー」の土・日をその他の曜日に変更できます
W ウィークデイ 7,800円	◇平日の10:00-22:00 にご利用いただけます
D デイタイム 6,600円	◇平日の10:00-17:00 にご利用いただけます
N ナイト 6,600円	◇平日の17:00-22:00 にご利用いただけます
H ホリデー 6,600円	◇土・目・祝日に 10:00 から閉店までご利用いただけます
HM ホリデーモーニング 5,800円	◇土・目・祝日の10-15時にご利用いただけます
EM アーリーモーニング 5,800円	◇平日のの 6-12 時にご利用いただけます (6 時~10 時まで無人営業)
F6 フレックス 6 7,800円	◇月6回 終日のご利用 最大15回まで持ち越せます
F4 フレックス 4 6,600円	◇月4回 終日のご利用 最大10回まで持ち越せます。

出典: benkyo-cafe 高岡ホームページ

(3)「コワーキングプレイス COMSYOKU」

・所在地:高岡市戸出町(大阪屋ショップ戸出店2階フロア)

・設置者: COMSYOKU (2018年8月にオープン)

・主な特色: 24 時間利用可能(個室のみ)、法人住所利用可、スーパーとの共有駐車場(約150台)、ワークショップキッチン、スタジオ、ミーティングルームを併設

・利用料金:月額会員 (フリーアドレス 15,000 円/月、固定席 30,000 円/月、個室 45,000

円/月)、ビジター(500円/時、6時間 以上の利用は一律3,000円)

・月額会員は3カ月 (更新可能)



出典: COMSYOKU ホームページ









出典: COMSYOKU ホームページ

(4) VTuber 専用スタジオ「BitStar Akihabara Lab」

・所在地:東京都・秋葉原エリア

・開設者:BitStar

・施設の用途: VR・バーチャル YouTuber (VTuber) 向けの有料貸しスタジオ

・施設の特色:コラボ、歌収録、ダンス用など用途に合わせた4つのスタジオを用意

・「Xsens MVN」又は「Perception Neuron」という慣性式のモーションキャプチャーシステムを利用可能

・バイノーラルマイクなどの機材や運用エンジニアも別料金で発注できるプレイエリアは $7.2\times3.6m$ で、MVN のみでは 4 人、Perception Neuron Pro などを併用すれば最大 7 体の VTuber をリアルタイムで同時出演できる。





出典: PANORA (VIRTUAL REALITY JAPAN)ホームページ

4 観光案内機能

(1) 富山県内の主要観光案内所

■とやま観光案内所:富山県内の観光案内とともに、富山市内の路面電車やバスが1日乗り放題になるフリー切符や新湊漁港の昼セリ風景の見学、伝統工芸のまち「高岡」での鋳物製作体験などの富山ならではの、ものづくり体験やグルメ体験ができる旅行商品やお得なフリー乗車券類のご購入が可能。





とやま観光案内所

総合案内所

- ■高岡駅観光案内所:高岡市内の観光情報、パンフレットの他、高岡の観光絵はがきや名 刺台紙などを販売。
- ■新高岡駅観光交流センター:高岡市内の観光情報だけでなく、広域のパンフレットも幅 広く取り揃えている。高岡の伝統工芸品も展示。



高岡駅観光案内所



新高岡駅観光案内所

(2) 黒部市地域観光ギャラリー (観光案内所)

北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅に黒部市が設置。観光案内カウンター、休憩スペース、物 販販売所、立体ジオラマ展示室等を備える。









出典:(一社)黒部・宇奈月温泉観光局ホームページ

(3) 魚津駅前観光案内所

富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏協議会「認定観光圏案内所事業」により、魚津市が設置し、魚津市観光協会が運営する。

ランチや史跡など、ジャンルに特化したオリジナルマップを配布。調べものに利用できるパソコンや、レンタサイクルを完備している。





出典:マイフェバ (JR 西日本) ホームページ

(4) 山中湖平野交差点バス待合所 観光案内所

·所 在 地:山梨県南都留郡山中湖村

・オープン:2017年4月 ・建築面積:126.27㎡

・設置者:富士急行(バス事業者)

・待合所では、山中湖観光協会と平野旅館民宿組合のスタッフが観光客に民宿や旅館、イベントなどを案内する。1日あたりのバス55便がロータリーを利用しており、乗降客は年間述べ約7万3,000人。





出典:山梨日日新聞社ホームページ、菅原大輔建築事務所ホームページ

(5) 由布市ツーリストインフォメーションセンター

· 所在地: 大分県由布市湯布院町

· 設置者:由布市

・運営者:一般社団法人由布市まちづくり観光局

·用 途:観光案内所

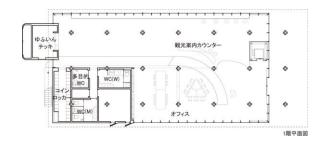
・規模: 敷地面積約1,025 m²、建築面積約492 m²、延べ床面積約624 m²

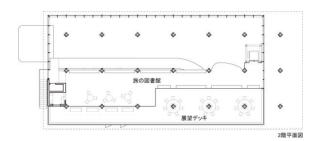
・構 造:木造(一部鉄骨造)2階建て





出典:由布市ホームページ





1 階

観光案内カウンター

- ・観光案内(外国人旅行者対応含む)
- ・宿泊斡旋
- ・辻馬車等予約・受付窓口
- レンタサイクル窓口

ゆふいんチッキ

- ・手荷物預り
- 手荷物配送

2階

展望デッキ

・由布岳への眺望

旅の図書館

・旅に関する図書の紹介

出典:由布市ホームページ

5 小河川の親水環境整備

(1)遊覧船

〇松川(富山市)



出典:とやま暮らしホームページ

〇佐原市小野川(千葉県)



出典:千葉県ホームページ

〇近江八幡市八幡堀 (滋賀県)



出典:近江八幡市ホームページ

〇清水川コミュニティ水路 (岐阜市)





出典:岐阜市ホームページ